

令和6年度環境測定結果等について

千葉市では、令和6年度に実施した市内における環境測定の結果等を公表しましたので、お知らせします。

1 大気環境測定（別紙1参照）

大気汚染防止法第22条第1項の規定により、市内に設置している測定局において、二酸化窒素、浮遊粒子状物質等の測定を実施した。

- (1) 二酸化窒素(NO_2)、浮遊粒子状物質(SPM)、微小粒子状物質($\text{PM}_{2.5}$)、二酸化硫黄(SO_2)、一酸化炭素(CO)は、全測定局で環境基準および環境目標を達成した。
- (2) 光化学オキシダント(O_3)については、全測定局で環境基準および環境目標を達成しなかった。

2 有害大気汚染物質モニタリング調査（別紙2参照）

大気汚染防止法第22条第1項の規定により、有害大気汚染物質（環境基準が設定されている4物質、指針値が設定されている11物質等）について市内6地点で調査した。

- (1) 環境基準が設定されている4物質（ベンゼン等）は、全6地点で環境基準を達成した。
- (2) 指針値が設定されている11物質（水銀、ヒ素等）は、全て指針値を達成した。

3 アスベスト調査（別紙3参照）

市内6地点で夏冬2回の調査を行い、詳細調査が必要とされる指標（1本／リットル）以下であった。

4 微小粒子状物質調査（別紙4参照）

大気汚染防止法第22条第1項の規定により、大気中における微小粒子状物質の挙動等の科学的知見を得るため、市内1地点で、年4回、微小粒子状物質の成分分析を実施した。

5 降下ばいじん調査（別紙5参照）

市内12地点で降下ばいじん調査を実施した。その結果、環境目標値（降下ばいじん総量の月間値が1平方キロメートルあたり10トン以下）の達成率は89.4%（各地点の達成率の平均）であった。

6 水質調査（別紙 6、7 参照）

市内の公共用水域 30 地点、地下水 15 地点の水質調査を実施した。

（1）公共用水域

ア 河川（25 地点）

調査した 35 項目中、「ほう素」、「大腸菌数」を除き、全ての項目で環境基準および環境目標を達成した。「ほう素」は 3 地点で、「大腸菌数」は 1 地点で、それぞれ達成しなかった。

また、環境基準の設定されていない要監視項目（PFOS および PFOA 等 32 項目）について、3 地点（PFOS および PFOA については 10 地点）で調査したところ、全地点で指針値以下であった。

イ 海域（5 地点）

調査した 34 項目中、「化学的酸素要求量（COD）」、「全窒素」、「全りん」、「底層溶存酸素量（底層 DO）」を除き、全ての項目で環境基準および環境目標を達成した。「化学的酸素要求量」、「全窒素」、「全りん」は 2 地点で、「底層溶存酸素量」は 5 地点で、それぞれ達成しなかった。

また、環境基準の設定されていない要監視項目（PFOS および PFOA 等 31 項目）について、3 地点で調査したところ、全地点で「ウラン」が指針値を超過した。その他の項目は全地点で指針値以下であった。

（2）地下水（15 地点）

千葉市の全体的な地下水質の状況を把握するため、市内 15 地点を調査し、そのうち、全地点で環境基準を達成した。また、これまでに汚染井戸が確認されている地区を対象とした、継続監視調査および汚染範囲の確認調査を実施した。

7 自動車騒音調査（別紙 8 参照）

自動車騒音の状況を市内 44 地点で調査し、主要幹線道路における環境基準の達成状況を評価した。

過去 3 カ年の評価で、環境基準の達成率はわずかに上昇となっている。

| 評価年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 |
|-------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 評価対象住居等戸数 | 60,216 戸 | 61,308 戸 | 61,751 戸 |
| 昼夜間とも 基準値以下の戸数 | 55,758 戸 (92.6%) | 57,031 戸 (93.0%) | 57,952 戸 (93.8%) |

8 ダイオキシン類調査（別紙 9～13 参照）

（1）一般環境に関する調査

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条第 1 項の規定による常時監視として、大気 3 地点、公共用水域（河川・海域）5 地点、地下水 2 地点および土壌 2 地点を調査した結果、全ての地点において環境基準を達成した。

（2）立入検査および自主測定

市内 4 事業場への立入検査時の測定、およびダイオキシン類対策特別措置法第 28 条の規定に基づき事業者が行った自主測定において、測定結果はいずれも排出基準を達成した。

令和 6 年度大気環境測定結果

大気汚染防止法第 22 条第 1 項の規定により実施した二酸化窒素、浮遊粒子状物質等の大気環境測定結果は、以下のとおりである。

1 二酸化窒素 (NO₂)

一般環境大気測定局（一般局）（13 局）及び自動車排出ガス測定局（自排局）（4 局）の全測定局で環境基準及び環境目標を達成した。

2 浮遊粒子状物質 (SPM)

一般局（13 局）及び自排局（4 局）の全測定局で環境基準及び環境目標を達成した。

3 微小粒子状物質 (PM_{2.5})

一般局（7 局）及び自排局（2 局）の全測定局で環境基準及び環境目標を達成した。

4 光化学オキシダント (O_x)

一般局（11 局）の全測定局で環境基準及び環境目標が未達成であった。

5 二酸化硫黄 (SO₂)

一般局（9 局）の全測定局で環境基準及び環境目標を達成した。

6 一酸化炭素 (CO)

自排局（2 局）の全測定局で環境基準及び環境目標を達成した。

環境基準の達成及び維持に向け、工場・事業場等の固定発生源への対策及び自動車排出ガス対策を推進していく。

光化学オキシダントについては、その原因物質のひとつである揮発性有機化合物（VOC）の排出抑制に向け、「千葉県揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制のための取組の促進に関する条例」（VOC 条例）に基づき事業者による自主的取組を促進するとともに、九都県市*で連携し、事業者や住民に向けてホームページへの掲載やリーフレット配布等の啓発活動を通じて排出削減を広く呼び掛けていく。

微小粒子状物質については、成分分析等の実施により実態把握に努めていく。

※九都県市…埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

1 項目別測定局数

測定を行った項目別の測定局数及び測定局の位置は、表 1 及び図 1 に示すとおりである。（光化学オキシダント及び微小粒子状物質を除く項目については、年間測定時間が 6,000 時間以上、微小粒子状物質については、有効測定日数が 250 日以上ある測定局を評価対象としている。）

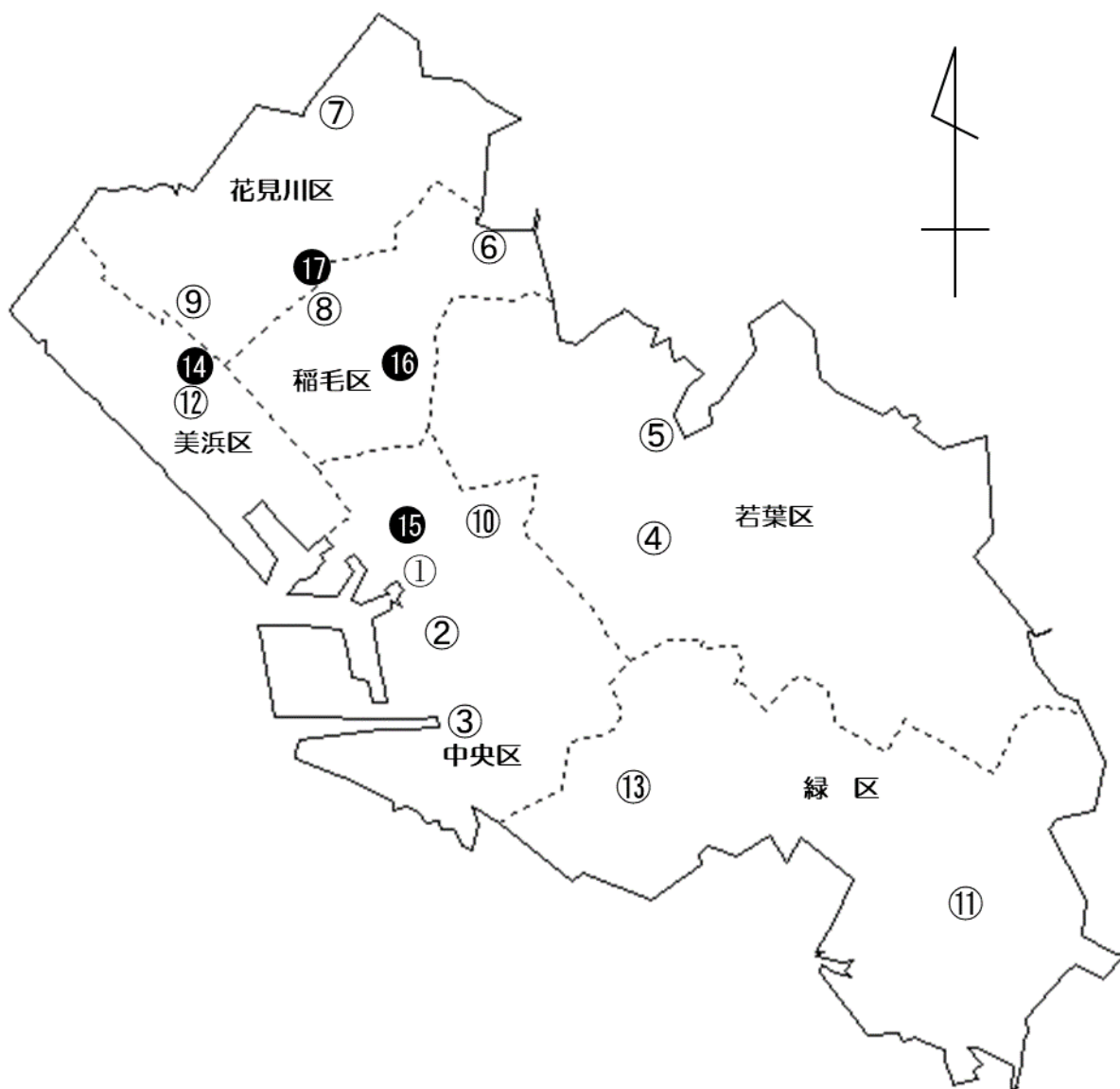
表 1 測定項目別測定局数

| 測定項目 測定局区分 | 二酸化窒素 | 浮遊 粒子状物質 | 微小 粒子状物質 | 光化学 オキシダント | 二酸化硫黄 | 一酸化炭素 |
|---------------|-------|-------------|-------------|---------------|-------|-------|
| 一般局※1 | 13 | 13 | 7 | 11 | 9 | |
| 自排局※2 | 4 | 4 | 2 | | | 2 |

※1 一般局 … 一般環境の大気汚染状況を把握する測定局

※2 自排局 … 自動車排出ガスの影響を把握する測定局

図1 測定局位置図



一般環境大気測定局

| | 測定局名称 | | 測定局名称 |
|---|-----------|----|--------|
| 1 | 寒川小学校 | 8 | 宮野木 |
| 2 | 福正寺 | 9 | 検見川小学校 |
| 3 | 蘇我保育所 | 10 | 都公園 |
| 4 | 大宮小学校 | 11 | 土気 |
| 5 | 千城台わかば小学校 | 12 | 真砂公園 |
| 6 | 山王小学校 | 13 | 泉谷小学校 |
| 7 | 花見川小学校 | | |

自動車排出ガス測定局

| | 測定局名称 |
|----|-------|
| 14 | 真砂 |
| 15 | 葭川 |
| 16 | 千草 |
| 17 | 宮野木 |

2 測定結果

(1) 二酸化窒素 (NO₂)

ア 一般局

- 長期的評価による環境基準の達成率は、100% (13局中13局) である。
- 千葉市環境目標値の達成率は、100% (13局中13局) である。
- 年平均値は、緩やかながら減少傾向にある (過去5年)。

イ 自排局

- 長期的評価による環境基準の達成率は、100% (4局中4局) である。
- 千葉市環境目標値の達成率は、100% (4局中4局) である。
- 年平均値は、緩やかながら減少傾向にある (過去5年)。

(2) 浮遊粒子状物質 (SPM)

ア 一般局

- 長期的評価による環境基準の達成率は、100% (13局中13局) である。
- 年平均値は、横ばいで推移している (過去5年)。

イ 自排局

- 長期的評価による環境基準の達成率は、100% (4局中4局) である。
- 年平均値は、横ばいで推移している (過去5年)。

(3) 微小粒子状物質 (PM_{2.5})

ア 一般局

- 長期基準 (年平均値)、短期基準 (日平均値の年間98%値) とともに達成率は100% (7局中7局) である。
- 長期的評価による環境基準の達成率は、100% (7局中7局) である。
- 年平均値は、緩やかながら減少傾向にある (過去5年)。

イ 自排局

- 長期基準 (年平均値)、短期基準 (日平均値の年間98%値) とともに達成率は100% (2局中2局) である。
- 長期的評価による環境基準の達成率は、100% (2局中2局) である。
- 年平均値は、緩やかながら減少傾向にある (過去5年)。

(4) 光化学オキシダント (O₃)

- 環境基準の達成率は、0% (11局中0局) である。なお、光化学スモッグが発生しやすい昼間 (5時～20時) の1時間値が0.06ppm以下である割合 (時間達成率) は93%となっている。
- 光化学スモッグ注意報は7回発令されたが、健康被害の届出はなかった。

(5) 二酸化硫黄 (SO₂)

- 長期的評価による環境基準の達成率は、100% (一般局9局) であり、昭和54年度以降100%を維持しており、良好な状況が続いている。
- 年平均値は、横ばいで推移している (過去5年)。

(6) 一酸化炭素 (CO)

- 長期的評価による環境基準の達成率は、100% (自排局2局) であり、昭和48年度以降100%を維持しており、良好な状況が続いている。
- 年平均値は、横ばいで推移している (過去5年)。

参考資料

1-1 環境基準及び千葉市環境目標値

| 項 目 | 環 境 基 準 及 び 環 境 目 標 値 | |
|---------------------------------|-----------------------|---|
| 二 酸 化 窒 素 (NO ₂) | 環境基準 | 1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。 |
| | 環境目標値 | 1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であること。 |
| 浮遊粒子状物質 (SPM) | 環境基準 | 1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 |
| | 環境目標値 | 1 時間値が 0.20 mg/m ³ 以下であること。 |
| 微小粒子状物質 (PM _{2.5}) | 環境基準 | 1 年平均値が 15 μg/m ³ 以下であり、かつ、1 日平均値が |
| | 環境目標値 | 35 μg/ m ³ 以下であること。 |
| 光化学オキシダント (O _x) | 環境基準 | 1 時間値が 0.06ppm 以下であること。 |
| | 環境目標値 | |
| 二 酸 化 硫 黄 (SO ₂) | 環境基準 | 1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が |
| | 環境目標値 | 0.1ppm 以下であること。 |
| 一 酸 化 炭 素 (CO) | 環境基準 | 1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 |
| | 環境目標値 | 時間平均値が 20ppm 以下であること。 |

1-2 常時監視結果の評価方法

環境省通知「大気汚染防止法第22条の規定に基づく大気の汚染の状況の常時監視に関する事務の処理基準について」：令和5年11月9日最終改正

2-1 環境基準の達成状況経年変化

| 区分 | 項 目 | 達 成 率 (%) | | | | | 令和6年度 達成測定局数* |
|----------------------------|-----------|-----------|-----|-----|-----|-----|------------------|
| | | 令和2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | |
| 一般環境大気測定局 | 二 酸 化 窒 素 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 13/13 |
| | 浮遊粒子状物質 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 13/13 |
| | 微小粒子状物質 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 7/7 |
| | 光化学オキシダント | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0/11 |
| | 二 酸 化 硫 黄 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 9/9 |
| 自動 ガ車 ス排 測出 定局 | 二 酸 化 窒 素 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 4/4 |
| | 浮遊粒子状物質 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 4/4 |
| | 微小粒子状物質 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 2/2 |
| | 一 酸 化 炭 素 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 2/2 |

(備考) * 達成測定局数／有効測定局数

2-2 千葉市環境目標値の達成状況経年変化

| 区分 | 項 目 | 達 成 率 (%) | | | | | 令和6年度 達成測定局数* |
|-------------------------|-----------|-----------|-----|-----|-----|-----|------------------|
| | | 令和2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | |
| 一般環境 大気測定局 | 二酸化窒素 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 13/13 |
| | 浮遊粒子状物質 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 13/13 |
| | 微小粒子状物質 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 7/7 |
| | 光化学オキシダント | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0/11 |
| | 二酸化硫黄 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 9/9 |
| 自動 ガスマス排 測出 定局 | 二酸化窒素 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 4/4 |
| | 浮遊粒子状物質 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 4/4 |
| | 微小粒子状物質 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 2/2 |
| | 一酸化炭素 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 2/2 |

(備考) * 達成測定局数／有効測定局数

令和 6 年度有害大気汚染物質等モニタリング調査結果

大気汚染防止法第 22 条第 1 項の規定により、平成 9 年度から有害大気汚染物質等の大気環境モニタリングを実施している。令和 6 年度に市内 6 地点で調査した結果は以下のとおりである。

1 環境基準が設定されている物質

ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタンの 4 物質について、いずれも全地点（6 地点）で環境基準を達成した。

2 環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（指針値）が設定されている物質

アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン、ヒ素及びその化合物、マンガン及びその化合物、アセトアルデヒド並びに塩化メチルの 11 物質について、いずれも全地点（※）で指針値を達成した。

※アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン、アセトアルデヒド並びに塩化メチルは 6 地点、ニッケル化合物、ヒ素及びその化合物並びにマンガン及びその化合物は 4 地点で測定

1 調査方法、対象物質及び調査地点**（1）調査方法**

大気汚染防止法第 22 条の規定に基づく大気の汚染の状況の常時監視に関する事務の処理基準及び有害大気汚染物質測定方法マニュアル（環境省水・大気環境局大気環境課）に準拠して調査を実施した。

（2）対象物質（全 21 物質）

ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン、ヒ素及びその化合物、マンガン及びその化合物、アセトアルデヒド、塩化メチル、酸化エチレン、ホルムアルデヒド、ベンゾ[a]ピレン、ベリリウム及びその化合物、クロム及びその化合物※、トルエン

※優先取組物質の指定は「クロム及び三価クロム化合物」及び「六価クロム化合物」とされているが、国の事務処理基準において、当分の間、「クロム及びその化合物」の全量の測定をもって代えることができるとされている。

（3）調査地点

図 1 に示す市内 6 地点において調査を実施した。

図1 有害大気汚染物質等モニタリング調査地点



2 調査結果

令和6年度 有害大気汚染物質モニタリング調査結果

※年平均値の算出にあつては、検出下限値未満の場合は検出下限値の1/2とした。

(1)環境基準が設定されている物質

| 地点 | | 真砂公園 | | | 千葉市水道局 | | | 福正寺 | | | 寒川小学校 | | | 真砂自排 | | | 宮野木自排 | | | 環境基準 |
|------------|--------------------------|-------|---------|------|--------|---------|-------|-------|---------|------|-------|---------|-------|-------|---------|------|-------|---------|------|------|
| 物質名 | 単位 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | |
| ベンゼン | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 1.1 | 0.29 | 3.0 | 0.52 | 0.084 | 1.4 | 1.7 | 0.17 | 4.7 | 1.7 | 0.15 | 8.5 | 1.0 | 0.23 | 3.1 | 1.0 | 0.25 | 3.0 | 3 |
| トリクロロエチレン | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 0.26 | <0.0018 | 1.2 | 0.092 | <0.0018 | 0.32 | 0.21 | <0.0042 | 0.77 | 0.15 | <0.0018 | 0.44 | 0.28 | <0.0018 | 1.5 | 0.33 | <0.0018 | 1.7 | 130 |
| テトラクロロエチレン | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 0.038 | <0.0011 | 0.12 | 0.025 | <0.0011 | 0.070 | 0.037 | <0.0011 | 0.12 | 0.027 | <0.0011 | 0.069 | 0.051 | <0.0011 | 0.16 | 0.039 | <0.0011 | 0.17 | 200 |
| ジクロロメタン | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 1.3 | 0.39 | 5.0 | 1.2 | 0.30 | 4.2 | 1.4 | 0.41 | 4.9 | 1.0 | 0.32 | 2.4 | 1.2 | 0.39 | 5.1 | 1.4 | 0.37 | 5.6 | 150 |

(2)指針値が設定されている物質

| 地点 | | 真砂公園 | | | 千葉市水道局 | | | 福正寺 | | | 寒川小学校 | | | 真砂自排 | | | 宮野木自排 | | | 指針値 |
|--------------|--------------------------|-------|---------|------|--------|---------|-------|-------|---------|------|-------|---------|------|-------|---------|------|-------|---------|------|-----|
| 物質名 | 単位 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | |
| アクリロニトリル | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 0.076 | <0.0021 | 0.46 | 0.016 | <0.0022 | 0.057 | 0.037 | 0.0024 | 0.12 | 0.067 | <0.0025 | 0.35 | 0.060 | <0.0021 | 0.30 | 0.038 | <0.0021 | 0.14 | 2 |
| 塩化ビニルモノマー | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 0.19 | <0.0018 | 1.6 | 0.057 | <0.0018 | 0.20 | 0.087 | <0.0018 | 0.34 | 0.10 | <0.0018 | 0.52 | 0.23 | <0.0018 | 2.1 | 0.31 | <0.0018 | 3.1 | 10 |
| 水銀及びその化合物 | ng/m^3 | 1.6 | 1.0 | 2.0 | 1.5 | 1.2 | 2.1 | 1.7 | 1.3 | 2.5 | 1.6 | 1.1 | 2.0 | 1.6 | 1.2 | 2.0 | 1.6 | 1.2 | 2.2 | 40 |
| ニッケル化合物 | ng/m^3 | 3.6 | 0.93 | 8.5 | 1.7 | 0.81 | 3.6 | 4.4 | 1.2 | 13 | 6.4 | 0.90 | 22 | - | - | - | - | - | - | 25 |
| クロロホルム | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 0.18 | 0.074 | 0.42 | 0.12 | 0.060 | 0.23 | 0.22 | 0.072 | 0.51 | 0.19 | 0.080 | 0.55 | 0.16 | 0.044 | 0.38 | 0.15 | 0.077 | 0.37 | 18 |
| 1, 2-ジクロロエタン | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 0.12 | 0.024 | 0.25 | 0.11 | 0.012 | 0.26 | 0.16 | 0.013 | 0.45 | 0.15 | 0.015 | 0.34 | 0.11 | 0.026 | 0.25 | 0.12 | 0.028 | 0.25 | 1.6 |
| 1, 3-ブタジエン | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 0.069 | 0.0076 | 0.21 | 0.052 | <0.0014 | 0.19 | 0.13 | 0.0015 | 0.46 | 0.11 | 0.0098 | 0.45 | 0.077 | 0.019 | 0.23 | 0.079 | 0.0067 | 0.20 | 2.5 |
| ヒ素及びその化合物 | ng/m^3 | 0.38 | 0.083 | 0.71 | 0.99 | 0.061 | 7.2 | 0.45 | 0.14 | 0.98 | 0.62 | 0.12 | 1.4 | - | - | - | - | - | - | 6 |
| マンガン及びその化合物 | ng/m^3 | 15 | 1.7 | 34 | 13 | 2.4 | 70 | 45 | 2.2 | 180 | 61 | 1.6 | 200 | - | - | - | - | - | - | 140 |
| アセトアルデヒド | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 1.9 | 0.98 | 3.5 | 1.4 | 0.82 | 2.1 | 2.1 | 1.1 | 4.2 | 2.3 | 1.2 | 3.9 | 2.4 | 1.2 | 3.9 | 2.4 | 1.1 | 3.9 | 120 |
| 塩化メチル | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 1.3 | <0.0010 | 1.6 | 1.3 | <0.0010 | 1.6 | 1.3 | 0.022 | 1.5 | 1.3 | 0.010 | 1.5 | 1.2 | 0.0077 | 1.6 | 1.3 | 0.0039 | 1.6 | 94 |

(3)その他の物質

| 地点 | | 真砂公園 | | | 千葉市水道局 | | | 福正寺 | | | 寒川小学校 | | | 真砂自排 | | | 宮野木自排 | | |
|--------------|--------------------------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|-------|-----|-------|-------|-----|
| 物質名 | 単位 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 | 平均値 | 最小値 | 最大値 |
| 酸化エチレン | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 0.060 | 0.031 | 0.085 | 0.045 | 0.015 | 0.10 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ホルムアルデヒド | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 2.3 | 1.1 | 3.2 | 1.3 | 0.34 | 2.3 | 2.9 | 1.7 | 4.2 | 3.0 | 1.9 | 4.1 | 3.5 | 2.4 | 5.7 | 5.4 | 3.2 | 10 |
| ベンゾ[a]ピレン | ng/m^3 | 0.60 | 0.024 | 3.5 | 0.20 | 0.016 | 0.62 | - | - | - | - | - | - | 0.37 | 0.037 | 1.4 | 0.43 | 0.032 | 1.8 |
| ベリリウム及びその化合物 | ng/m^3 | 0.008 | <0.006 | 0.022 | 0.011 | <0.006 | 0.057 | 0.018 | 0.009 | 0.064 | 0.029 | <0.006 | 0.10 | - | - | - | - | - | - |
| クロム及びその化合物 | ng/m^3 | 5.3 | 1.4 | 41 | 2.3 | 0.96 | 9.5 | 28 | 1.0 | 100 | 110 | 0.76 | 850 | - | - | - | - | - | - |
| トルエン | $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | 3.6 | 1.3 | 11 | 2.6 | 0.10 | 9.2 | 4.1 | 1.1 | 13 | 3.1 | 1.0 | 7.4 | 3.7 | 0.85 | 14 | 4.6 | 1.2 | 17 |

令和 6 年度アスベスト調査結果

「アスベストモニタリングマニュアル（第 4.2 版）」（令和 4 年 3 月環境省水・大気環境局大気環境課作成）に基づき、大気環境中の総繊維数濃度の測定を行っている。令和 6 年度に調査した結果は以下のとおりである。

1 調査期間

夏季：令和 6 年 7 月 17 日（水）～19 日（金）

冬季：令和 7 年 1 月 28 日（火）～30 日（木）

2 調査地点 6 地点

3 調査結果

市内の調査地点での総繊維数濃度は、0.056～0.43 本／リットルの範囲にあり、「アスベストモニタリングマニュアル（第 4.2 版）」において電子顕微鏡等による調査が必要とされる指標（1 本／リットル）を超えた地点はなかった。

調査地点（位置は図 1 のとおり）

- | | |
|---------------|---------------------|
| (1) 寒川小学校測定局 | (中央区寒川町 1-205) |
| (2) 検見川小学校測定局 | (花見川区検見川町 3-322-23) |
| (3) 宮野木測定局 | (稲毛区宮野木町 996-9) |
| (4) 大宮小学校測定局 | (若葉区大宮台 7-8-1) |
| (5) 土気測定局 | (緑区大椎町 1251-316) |
| (6) 真砂公園測定局 | (美浜区真砂 1-11) |

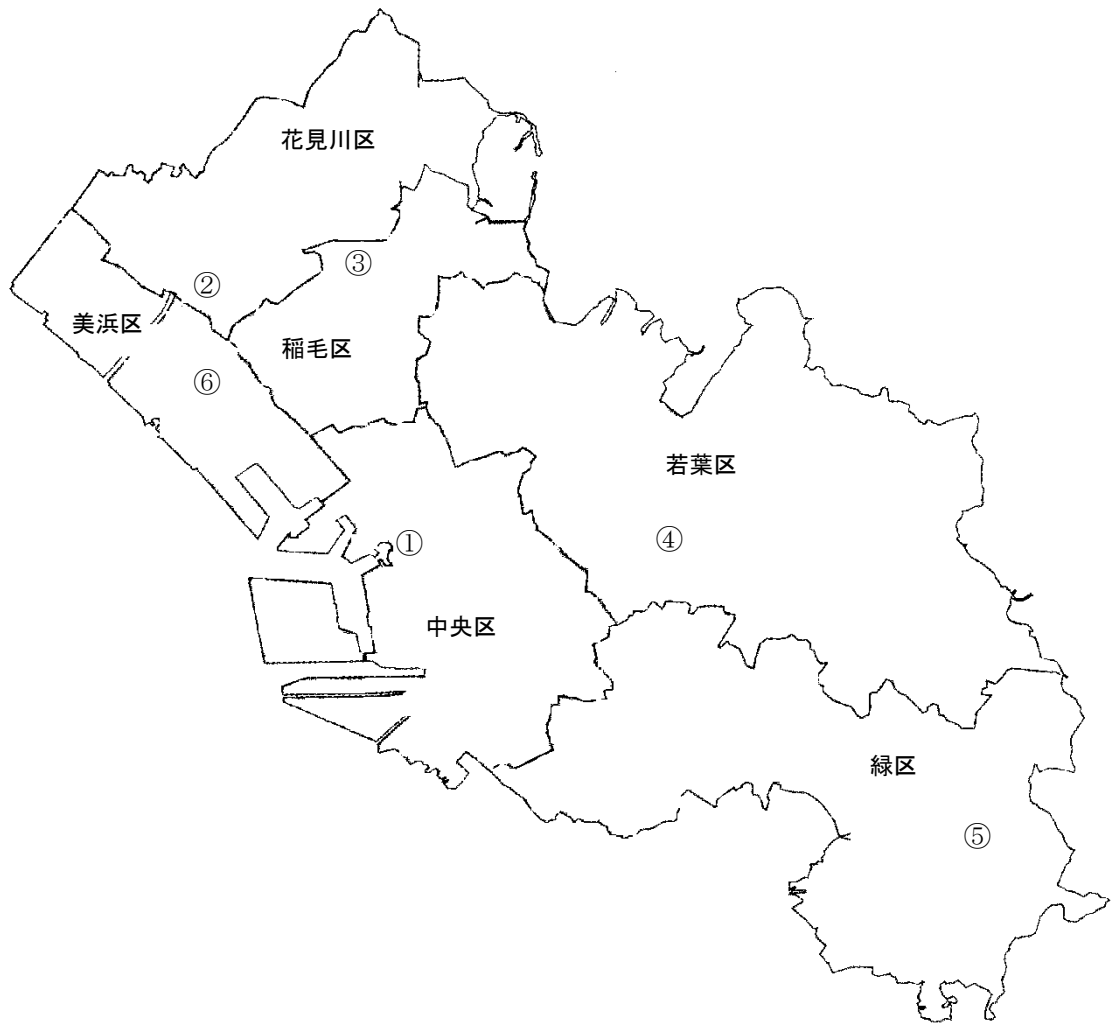
調査結果

| 調査地点 | 総繊維数（本／リットル） | |
|-----------|--------------|-------|
| | 夏季 | 冬季 |
| 寒川小学校測定局 | 0.43 | 0.056 |
| 検見川小学校測定局 | 0.21 | 0.081 |
| 宮野木測定局 | 0.12 | 0.070 |
| 大宮小学校測定局 | 0.081 | 0.056 |
| 土気測定局 | 0.18 | 0.056 |
| 真砂公園測定局 | 0.25 | 0.056 |

注）表中の値は、3 日間の測定値の幾何平均値。

測定値が「0」の場合は、検出下限値「0.056」を測定値として幾何平均値を計算している。

図1 アスベスト調査地点



一般環境大気測定局

- ① 中 央 区：寒川小学校測定局
- ② 花見川区：検見川小学校測定局
- ③ 稲 毛 区：宮野木測定局
- ④ 若 葉 区：大宮小学校測定局
- ⑤ 緑 区：土気測定局
- ⑥ 美 浜 区：真砂公園測定局

令和 6 年度微小粒子状物質成分分析結果

大気汚染防止法第 22 条第 1 項の規定により、令和 6 年度に行った微小粒子状物質成分分析の結果は以下のとおりである。

1 調査期間

| | | | | | |
|-----------|------|---------|---|------|---------|
| 春季：令和 6 年 | 5 月 | 9 日（木） | ～ | 5 月 | 23 日（木） |
| 夏季：令和 6 年 | 7 月 | 18 日（木） | ～ | 8 月 | 1 日（木） |
| 秋季：令和 6 年 | 10 月 | 17 日（木） | ～ | 10 月 | 31 日（木） |
| 冬季：令和 7 年 | 1 月 | 16 日（木） | ～ | 1 月 | 30 日（木） |

2 調査地点

千城台わかば小学校測定局（若葉区千城台北 1-4-1）

3 調査項目

- （1）質量濃度
 - （2）イオン成分（ SO_4^{2-} , NO_3^- , Cl^- , Na^+ , K^+ , Ca^{2+} , Mg^{2+} , NH_4^+ ）
 - （3）無機元素成分（Na, Al, Si, K, Ca, Sc, Ti, V, Cr, Mn, Fe, Co, Ni, Cu, Zn, As, Se, Rb, Mo, Sb, Cs, Ba, La, Ce, Sm, Hf, W, Ta, Th, Pb）
 - （4）炭素成分（OC, EC）
 - （5）その他（WSOC、レボグルコサン）
- ※「微小粒子状物質（ $\text{PM}_{2.5}$ ）の成分分析ガイドライン」、「大気中微小粒子状物質（ $\text{PM}_{2.5}$ ）成分測定マニュアル」、「環境大気常時監視マニュアル第 6 版」に記載された測定法、精度管理法等に従い実施した。

4 調査結果

- （1）質量濃度
季節ごとの平均濃度は $6.3 \sim 12.1 \mu\text{g}/\text{m}^3$ の範囲で、夏季が最も高く、秋季が最も低かった。
- （2）イオン成分
季節ごとの平均濃度は、硫酸イオン（ SO_4^{2-} ）は夏季が最も高く、硝酸イオン（ NO_3^- ）、塩化物イオン（ Cl^- ）及びアンモニウムイオン（ NH_4^+ ）については、冬季が最も高かった。また、イオン成分の季節ごとの平均濃度が質量濃度に占める割合は $30.2 \sim 50.0\%$ の範囲であった。
- （3）無機元素成分
土壌の指標成分のアルミニウム（Al）及びカルシウム（Ca）、チタン（Ti）やケイ素（Si）が、冬季の一部で濃度が高かった。また、石油燃焼の指標成分のバナジウム（V）及びニッケル（Ni）は、夏季の一部で濃度が高かった。また、無機元素の季節ごとの平均濃度が質量濃度に占める割合は $2.6 \sim 5.5\%$ の範囲であった。
- （4）炭素成分
有機炭素（OC）及び元素状炭素（EC）は年間を通して概ね同様の変動を示し、元素状炭素（EC）は、冬季に他の季節と比較して高い濃度となる日が多くみられた。また、炭素成分の季節ごとの平均濃度が質量濃度に占める割合は $32.2 \sim 40.2\%$ の範囲であった。
- （5）その他
水溶性有機炭素（WSOC）の季節ごとの平均濃度は、目立った傾向はみられないが、年間を通して有機炭素（OC）と概ね同様の変動を示した。また、レボグルコサンの季節ごとの平均濃度は、秋季及び冬季は、他の季節と比較して高い濃度となる日が多くみられた。

表 1 微小粒子状物質成分分析結果（季節平均濃度）

| 測定項目 | | 春季 | 夏季 | 秋季 | 冬季 | 年平均 |
|--|--------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 質量濃度 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$) | | 8.4 | 12.1 | 6.3 | 11.9 | 9.7 |
| イオン成分 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$) | SO_4^{2-} | 1.70 | 3.36 | 0.900 | 1.48 | 1.86 |
| | NO_3^- | 0.528 | 0.091 | 0.336 | 2.27 | 0.806 |
| | Cl^- | 0.047 | (0.011) | 0.107 | 0.567 | 0.183 |
| | Na^+ | 0.160 | 0.176 | 0.166 | 0.083 | 0.146 |
| | K^+ | 0.044 | 0.053 | 0.064 | 0.096 | 0.064 |
| | Ca^{2+} | 0.045 | 0.051 | 0.0245 | 0.076 | 0.049 |
| | Mg^{2+} | 0.0221 | 0.0245 | 0.0192 | 0.0135 | 0.0198 |
| | NH_4^+ | 0.643 | 1.08 | 0.288 | 1.37 | 0.845 |
| 無機 元素成分 (ng/m^3) | Na | 172 | 191 | 190 | 73.3 | 156 |
| | Al | 50 | 37.1 | 25 | 45 | 39 |
| | K | 58.1 | 63.7 | 84.4 | 98.7 | 76.2 |
| | Ca | 49 | 52.2 | 33 | 76 | 53 |
| | Sc | <0.03 | <0.026 | <0.020 | <0.017 | <0.03 |
| | Ti | 3.8 | 4.0 | 3.3 | 5.4 | 4.2 |
| | V | 0.802 | 1.82 | 0.366 | 0.530 | 0.88 |
| | Cr | 2.53 | 2.85 | (0.8) | 2.42 | 2.1 |
| | Mn | 5.36 | 5.16 | 3.71 | 6.94 | 5.29 |
| | Fe | 140 | 165 | 62.2 | 134 | 125 |
| | Co | (0.049) | 0.091 | (0.024) | (0.041) | (0.051) |
| | Ni | 1.09 | 1.57 | 0.53 | 0.67 | 0.96 |
| | Cu | 3.63 | 3.08 | 2.61 | 5.8 | 3.8 |
| | Zn | 18.9 | 22.1 | 15.4 | 29.9 | 21.6 |
| | As | 0.64 | 0.641 | 0.70 | 0.54 | 0.63 |
| | Se | 0.578 | 0.94 | 0.316 | 0.62 | 0.62 |
| | Rb | 0.197 | 0.241 | 0.138 | 0.239 | 0.204 |
| | Mo | 1.85 | 0.993 | 0.38 | 0.594 | 0.95 |
| | Sb | 1.18 | 0.790 | 1.26 | 2.10 | 1.33 |
| | Cs | (0.033) | 0.0640 | <0.018 | (0.024) | (0.033) |
| | Ba | 1.26 | 2.07 | 1.32 | 1.86 | 1.63 |
| | La | 0.122 | 0.25 | 0.060 | 0.114 | 0.136 |
| | Ce | 0.093 | 0.095 | 0.059 | 0.123 | 0.093 |
| | Sm | <0.015 | <0.017 | <0.026 | <0.022 | <0.026 |
| | Hf | <0.010 | <0.016 | <0.021 | <0.020 | <0.021 |
| | W | 0.55 | 0.900 | 0.295 | 0.312 | 0.51 |
| | Ta | <0.018 | <0.013 | <0.015 | <0.013 | <0.018 |
| | Th | <0.013 | <0.016 | <0.014 | <0.014 | <0.016 |
| | Pb | 5.49 | 5.57 | 3.46 | 8.25 | 5.69 |
| | Si | 102 | 63 | 50 | 143 | 89 |
| 炭素成分 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$) | OC | 2.09 | 3.22 | 1.88 | 2.70 | 2.47 |
| | EC | 0.619 | 0.92 | 0.655 | 1.27 | 0.867 |
| その他 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$) | WSOC | 1.61 | 2.53 | 1.15 | 1.83 | 1.78 |
| | レボ'グルコサン | 0.0262 | 0.0117 | 0.0731 | 0.118 | 0.0571 |

備考1) 各季の成分分析結果は、14日間の平均値である。

2) "<"は検出下限値未満の値を示す。

3) ()は定量下限値未満の値のため参考値となる。

4) 平均値の算出には、検出下限値未満は検出下限値の1/2の数値を用いた。

5) 年平均値は、56日間の平均値であり、全日の最大検出下限値未満であった場合は、その値を表示する。

また、全日の最大定量下限値未満であった場合は、括弧書きで表示する。

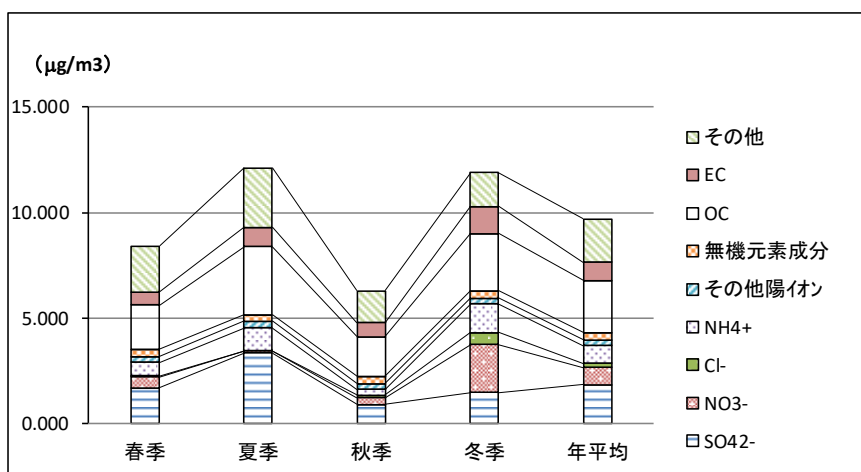


図1 季節及び年平均の質量濃度の変化

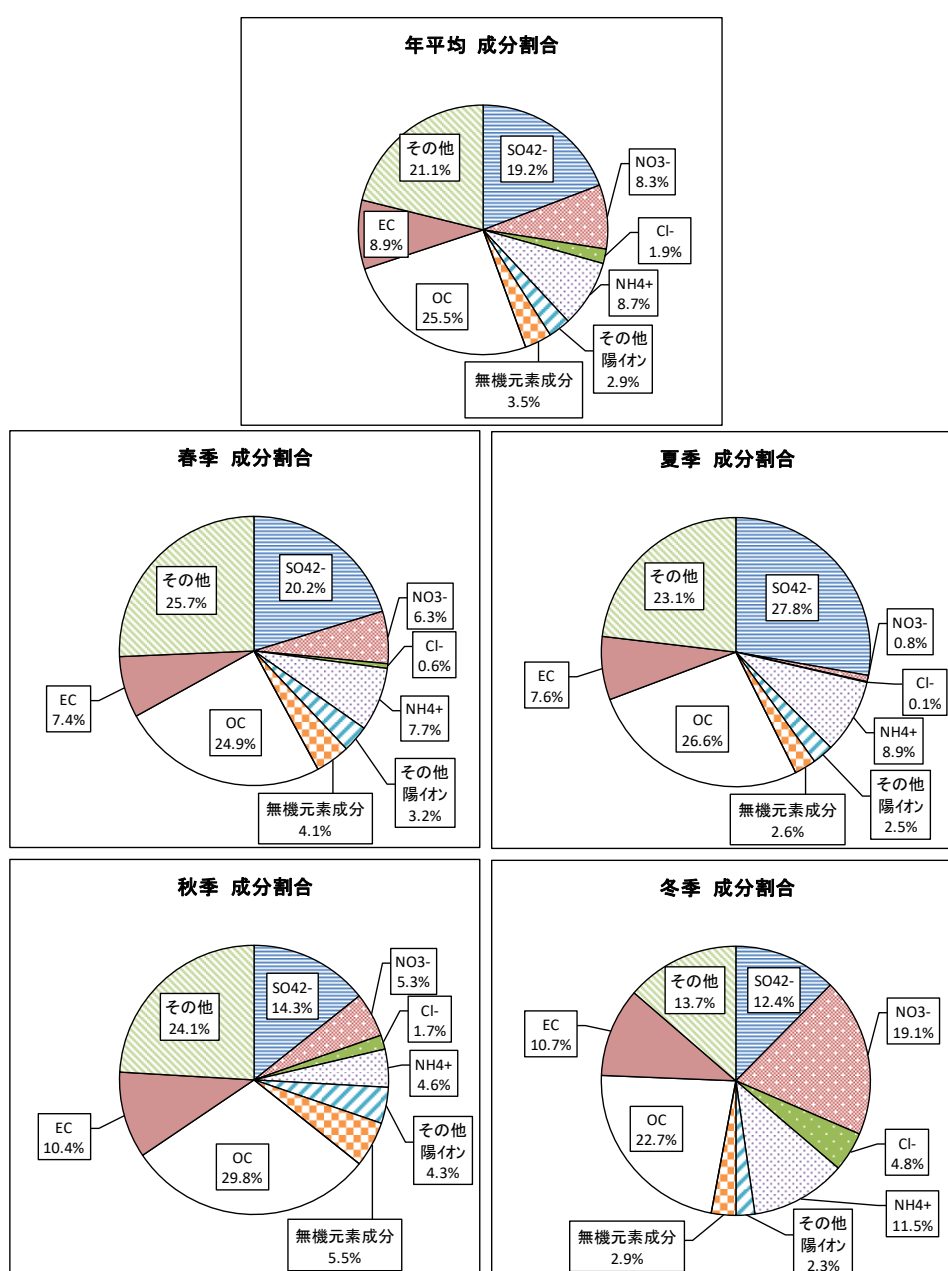


図2 質量濃度に占める成分割合（年平均及び各季節）

令和6年度降下ばいじん調査結果

「令和6年度降下ばいじん調査実施要領」（千葉県環境生活部大気保全課）に基づき、降下ばいじんの採取及び測定を行った。調査結果は以下のとおりである。

1 調査地点 12 地点

2 調査結果

降下ばいじんは、千葉市環境基本計画に基づく環境目標値（降下ばいじん総量の月間値が $10 \text{ t/km}^2/\text{月}$ 以下であること。）を定めている。令和6年度は各地点において、月単位で 12 回測定し、計 144 回の測定を行った。このうち環境目標値の達成が 125 回、未達成が 15 回となり、欠測 1 回及び参考値 3 回を評価から除外した結果、達成率は 89.4%（各地点の達成率の平均）となった。

調査地点（位置は図1のとおり）

- （1）千葉職業能力開発短期大学校
- （2）千城台わかば小学校測定局
- （3）花見川小学校測定局
- （4）寒川小学校測定局
- （5）土気測定局
- （6）真砂公園測定局
- （7）蘇我保育所測定局
- （8）都公園測定局
- （9）宮野木測定局
- （10）フェスティバルウォーク
- （11）アリオ蘇我
- （12）千葉県立美術館

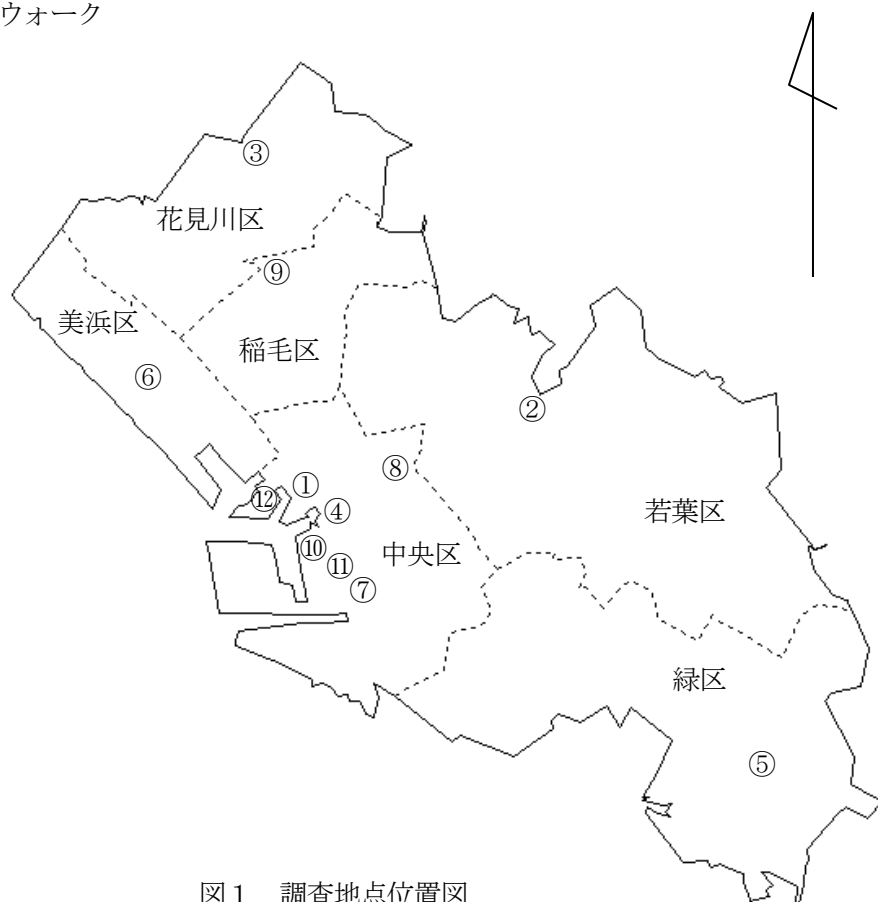


図1 調査地点位置図

調査結果

降下ばいじん測定結果（令和6年度）

（単位：t/km²/月（=g/m²/月））

| 測 定 地 点 | 所 在 地 | 月 項目 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 平均値 |
|-------------------|-------------------|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|----------------|---------------|-----|
| 千葉職業能力開発 短期大学校 | 中央区 問屋町2-25 | 総量 | 12.0 | 11.3 | 2.8 | 7.3 | 5.3 | 7.7 | 3.7 | 3.6 | 3.2 | 4.1 | 7.2 | 9.1 | 6.4 |
| | | 水溶性 | 9.1 | 6.6 | 1.4 | 4.3 | 3.6 | 4.1 | 2.9 | 2.4 | 1.6 | 2.0 | 2.4 | 4.3 | 3.7 |
| | | 不水溶性 | 2.9 | 4.7 | 1.4 | 3.0 | 1.7 | 3.6 | 0.8 | 1.2 | 1.6 | 2.1 | 4.8 | 4.8 | 2.7 |
| 千城台わかば小学 校 | 若葉区 千城台北1-4-1 | 総量 | 9.6 | 3.0 | 0.5 | 2.0 | 1.9 | 3.1 | 2.4 | 2.3 | 8.8 | 2.4 | 8.3 | 5.7 | 4.2 |
| | | 水溶性 | 8.0 | 2.4 | 0.2 | 1.3 | 1.7 | 2.5 | 1.7 | 1.7 | 5.1 | 1.7 | 1.8 | 3.3 | 2.6 |
| | | 不水溶性 | 1.6 | 0.6 | 0.3 | 0.7 | 0.2 | 0.6 | 0.7 | 0.6 | 3.7 | 0.7 | 6.5 | 2.4 | 1.6 |
| 花見川小学校 | 花見川区 花見川4-1 | 総量 | 10.6 | 10.3 | 1.1 | 2.1 | 1.8 | 2.0 | 2.8 | 2.3 | 3.2 | 2.5 | 20.6 | 5.3 | 5.4 |
| | | 水溶性 | 8.3 | 9.1 | 0.6 | 1.2 | 1.4 | 0.9 | 2.1 | 1.6 | 1.0 | 1.4 | 2.4 | 2.6 | 2.7 |
| | | 不水溶性 | 2.3 | 1.2 | 0.5 | 0.9 | 0.4 | 1.1 | 0.7 | 0.7 | 2.2 | 1.1 | 18.2 | 2.7 | 2.7 |
| 寒川小学校 | 中央区 寒川町1-205 | 総量 | 11.6 | 10.6 | 4.8 | 8.5 | 3.7 | 12.2 | 3.6 | 4.1 | 4.5 | 3.8 | 8.6 | 8.0 | 7.0 |
| | | 水溶性 | 8.8 | 5.0 | 1.3 | 3.6 | 2.5 | 5.6 | 2.5 | 2.6 | 1.3 | 1.7 | 2.7 | 2.8 | 3.4 |
| | | 不水溶性 | 2.8 | 5.6 | 3.5 | 4.9 | 1.2 | 6.6 | 1.1 | 1.5 | 3.2 | 2.1 | 5.9 | 5.2 | 3.6 |
| 土気 | 緑区 大椎町1251-316 | 総量 | 8.1 | 4.1 | 0.4 | 1.1 | 1.9 | 1.4 | 2.2 | 5.0 | 0.5 | 0.8 | 7.2 | 3.2 | 3.0 |
| | | 水溶性 | 7.2 | 3.3 | 0.2 | 0.9 | 1.7 | 1.0 | 2.0 | 4.7 | 0.2 | 0.5 | 1.2 | 1.6 | 2.0 |
| | | 不水溶性 | 0.9 | 0.8 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.4 | 0.2 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 6.0 | 1.6 | 1.0 |
| 真砂公園 | 美浜区 真砂1-11 | 総量 | 12.4※ | 5.9 | 2.5 | 2.3 | 1.9 | 1.8 | 2.1 | 1.9 | 0.5 | 1.4 | 4.7 | 2.7 | 2.5 |
| | | 水溶性 | 10.6※ | 4.9 | 1.7 | 1.6 | 1.5 | 0.8 | 1.7 | 1.4 | 0.2 | 0.9 | 1.6 | 1.1 | 1.6 |
| | | 不水溶性 | 1.8※ | 1.0 | 0.8 | 0.7 | 0.4 | 1.0 | 0.4 | 0.5 | 0.3 | 0.5 | 3.1 | 1.6 | 0.9 |
| 蘇我保育所 | 中央区 蘇我2-3-18 | 総量 | 10.0 | 11.8※ | 2.5 | 4.0 | 3.2 | 6.7 | 3.3 | 4.1 | 5.2 | 4.8 | 14.8 | 6.7 | 5.9 |
| | | 水溶性 | 8.3 | 10.4※ | 1.7 | 1.9 | 2.7 | 4.3 | 2.3 | 2.6 | 1.4 | 1.6 | 2.5 | 3.2 | 3.0 |
| | | 不水溶性 | 1.7 | 1.4※ | 0.8 | 2.1 | 0.5 | 2.4 | 1.0 | 1.5 | 3.8 | 3.2 | 12.3 | 3.5 | 3.0 |
| 都公園 | 中央区 都町2-14 | 総量 | 欠測 | 7.3 | 1.7 | 4.6 | 2.7 | 7.0 | 3.7 | 23.1※ | 3.3 | 3.6 | 16.5 | 4.6 | 5.5 |
| | | 水溶性 | 欠測 | 5.9 | 0.5 | 2.0 | 2.2 | 4.1 | 3.4 | 21.8※ | 2.1 | 1.7 | 1.9 | 2.1 | 2.6 |
| | | 不水溶性 | 欠測 | 1.4 | 1.2 | 2.6 | 0.5 | 2.9 | 0.3 | 1.3※ | 1.2 | 1.9 | 14.6 | 2.5 | 2.9 |
| 宮野木 | 稲毛区 宮野木町996-9 | 総量 | 8.2 | 4.4 | 1.0 | 1.3 | 2.3 | 1.2 | 1.4 | 1.6 | 1.2 | 1.5 | 5.9 | 4.0 | 2.8 |
| | | 水溶性 | 6.9 | 3.3 | 0.4 | 0.8 | 2.0 | 0.9 | 1.0 | 1.3 | 0.4 | 0.9 | 1.1 | 2.1 | 1.8 |
| | | 不水溶性 | 1.3 | 1.1 | 0.6 | 0.5 | 0.3 | 0.3 | 0.4 | 0.3 | 0.8 | 0.6 | 4.8 | 1.9 | 1.1 |
| フェスティバル ウォーク | 中央区 川崎町51-1 | 総量 | 9.2 | 8.8 | 4.8 | 8.7 | 3.5 | 10.2 | 4.5 | 3.4 | 4.0 | 3.0 | 8.5 | 9.6 | 6.5 |
| | | 水溶性 | 6.7 | 3.5 | 1.1 | 2.6 | 2.3 | 4.5 | 2.1 | 1.7 | 1.0 | 1.3 | 1.4 | 4.0 | 2.7 |
| | | 不水溶性 | 2.5 | 5.3 | 3.7 | 6.1 | 1.2 | 5.7 | 2.4 | 1.7 | 3.0 | 1.7 | 7.1 | 5.6 | 3.8 |
| アリオ蘇我 | 中央区 川崎町52-7 | 総量 | 11.0 | 8.9 | 5.9 | 11.1 | 5.8 | 10.9 | 4.5 | 7.4 | 5.5 | 8.2 | 16.0 | 8.4 | 8.6 |
| | | 水溶性 | 7.2 | 4.6 | 2.1 | 3.7 | 3.1 | 4.7 | 2.7 | 2.3 | 0.7 | 1.9 | 2.2 | 2.9 | 3.2 |
| | | 不水溶性 | 3.8 | 4.3 | 3.8 | 7.4 | 2.7 | 6.2 | 1.8 | 5.1 | 4.8 | 6.3 | 13.8 | 5.5 | 5.5 |
| 千葉県立美術館 | 中央区 中央港1-10-1 | 総量 | 9.6 | 7.1 | 2.4 | 3.8 | 3.5 | 4.3 | 2.7 | 2.0 | 1.0 | 1.3 | 3.9 | 6.4 | 4.0 |
| | | 水溶性 | 7.3 | 5.1 | 2.0 | 2.7 | 2.7 | 2.6 | 2.3 | 1.5 | 0.2 | 0.8 | 1.1 | 4.1 | 2.7 |
| | | 不水溶性 | 2.3 | 2.0 | 0.4 | 1.1 | 0.8 | 1.7 | 0.4 | 0.5 | 0.8 | 0.5 | 2.8 | 2.3 | 1.3 |
| | | 測定期間 | 4月1日 5月1日 | 5月1日 6月3日 | 6月3日 7月1日 | 7月1日 8月1日 | 8月1日 9月2日 | 9月2日 10月1日 | 10月1日 11月1日 | 11月1日 12月2日 | 12月2日 12月27日 | 12月27日 1月31日 | 1月31日 2月28日 | 2月28日 4月1日 | |

※ 参考値

- * 千葉市環境基本計画に定める環境目標値：月間値10t/km²/月以下
- * 平均値については端数処理のため、合計が合わないことがあります。

令和 6 年度公共用水域水質調査結果

水質汚濁防止法第 16 条第 1 項の規定による測定計画等に基づき、市内の公共用水域 30 地点において実施した令和 6 年度の水質調査結果は、以下のとおりである。

1 河川（25 地点：測定計画地点（環境基準点）3 地点、市独自調査地点 22 地点）

（1）健康項目（カドミウム等 27 項目）

環境基準点（3 地点）では、1 地点で「ほう素」の環境基準及び環境目標を達成しなかった。市独自調査地点（22 地点）では、2 地点で「ほう素」の環境基準及び環境目標を達成しなかった。その他の項目は、全地点で環境基準及び環境目標を達成した。

（2）生活環境項目（大腸菌数等 8 項目）

環境基準点では、全地点で環境基準及び環境目標を達成した。市独自調査地点では、1 地点で「大腸菌数」の環境基準及び環境目標を達成しなかった。その他の項目は、全地点で環境基準及び環境目標を達成した。

（3）要監視項目（PFOS 及び PFOA 等 32 項目）

主に環境基準点で調査を行ったところ、調査した全地点で指針値以下であった。

2 海域（5 地点：測定計画地点（環境基準補助点）3 地点、市独自調査地点 2 地点）

（1）健康項目（カドミウム等 25 項目）

環境基準補助点（3 地点）及び市独自調査地点（2 地点）の全地点で環境基準及び環境目標を達成した。

（2）生活環境項目（全窒素等 9 項目）

環境基準補助点では、1 地点で「化学的酸素要求量（COD）」が環境目標を達成しなかった。市独自調査地点では、1 地点で「COD」が、2 地点で「全窒素」及び「全りん」が、それぞれ環境基準を（うち 1 地点は環境目標も）達成しなかった。なお、底層溶存酸素量（底層 DO）については、環境基準の評価地点（環境基準点）はまだ定まっていないが、全 5 地点で環境基準を（うち 2 地点は環境目標も）達成しなかった。その他の項目は全地点で環境基準及び環境目標を達成した。

（3）要監視項目（PFOS 及び PFOA 等 31 項目）

環境基準補助点で調査を行ったところ、3 地点で「ウラン」が指針値を超過した。その他の項目は調査した全地点で指針値以下であった。

本市としては、環境基準等の達成に向け、工場・事業場に対する規制・指導及び生活排水対策など、引き続き各種の施策を講じていく。

1 調査概要

（1）測定計画

測定計画は、水質汚濁防止法第 16 条第 1 項の規定により都道府県が毎年作成するもので、水質に係る常時監視は同計画に基づき実施している。

測定項目は、以下のとおりである。

<健康項目（計 27 項目）>

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニル、

ジクロロメタン、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、四塩化炭素、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素（河川）、ほう素（河川）、1,4-ジオキサン

<生活環境項目（計 12 項目）>

水素イオン濃度指数（pH）、溶存酸素量（DO）、生物化学的酸素要求量（BOD）（河川）、化学的酸素要求量（COD）（海域）、浮遊物質量（SS）（河川）、全窒素（海域）、全りん（海域）、大腸菌数（河川）、全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）、底層溶存酸素量（底層 DO）（海域）

<要監視項目※（計 32 項目）>

クロロホルム、トランス-1, 2-ジクロロエチレン、1, 2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、イソキサチオン、ダイアジノン、フェニトロチオン（ME P）、イソプロチオラン、オキシ銅（有機銅）、クロロタロニル（TPN）、プロピザミド、EPN、ジクロボス（DDVP）、フェノブカルブ（BPMC）、イプロベンホス（IBP）、クロルニトロフェン（CNP）、トルエン、キシレン、フタル酸ジエチルヘキシル、ニッケル、モリブデン、アンチモン、塩化ビニルモノマー、エピクロロヒドリン、全マンガン、ウラン、ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）、フェノール、ホルムアルデヒド、4-t-オクチルフェノール、アニリン、2, 4-ジクロロフェノール

※要監視項目とは、人の健康の保護または水生生物の保全に関連する物質ではあるが、公共用水域等における検出状況等からみて、直ちに環境基準とはせず、引き続き知見の集積に努めるべきものとして設定されている項目である。

（２）環境基準点等

環境基準点は、広域的な視点から測定計画に位置付けられた、当該水域で環境基準を満たしているかの評価を行う調査地点である。また、環境基準補助点は、測定計画において環境基準点における測定を補助する目的で選定される地点である。

本市においては、花見川・都川・葭川の３河川のそれぞれ１地点が環境基準点として位置付けられている。また、本市地先海域の３地点が環境基準補助点として位置付けられている。

（３）調査地点

環境基準点及び環境基準補助点に市独自調査地点（６河川 22 地点、海域 2 地点）を加えた 9 河川 25 地点及び海域 5 地点（図 1）において調査を実施している。

なお、市独自調査地点のうち、類型指定のない河川 15 地点については、生活環境項目の環境基準は適用されない。

（４）環境目標値

千葉市では、千葉市環境基本計画により環境基準点、環境基準補助点を含む河川 17 地点、海域 2 地点に環境目標値を設定している。

2 調査結果

（１）河川

ア 健康項目（表 1）

環境基準点（３地点）では、新花見川橋で「ほう素」の環境基準及び環境目標を達成しなかつ

た。市独自調査地点（22地点）では、高洲橋、平成橋で「ほう素」の環境基準及び環境目標を達成しなかった。その他の項目は、全地点で環境基準及び環境目標を達成した。

＜環境基準値及び環境目標値を超過した地点の結果＞

| 調 査 地 点 | (単位:mg/L) |
|------------|---------------------------------|
| | ほう素 環境基準及び環境目標 値:1mg/L 以下 |
| 新花見川橋(花見川) | 1.7 |
| 高洲橋(花園川) | 3.2 |
| 平成橋(生実川) | 1.1 |

イ 生活環境項目（表 2）

環境基準点では、全地点で環境基準及び環境目標を達成した。市独自調査地点では、下泉橋で「大腸菌数」の環境基準及び環境目標を達成しなかった。その他の項目は、全地点で環境基準及び環境目標を達成した。

＜環境基準値及び環境目標値を上回った地点の結果＞

| 調 査 地 点 | (単位:CFU/100mL) |
|----------|---|
| | 大腸菌数 環境基準及び環境目標 値:300 CFU/100mL以下 |
| 下泉橋(鹿島川) | 460 |

ウ 要監視項目（表 3）

環境基準点で調査を行った（ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）については、環境基準点に加えて、源町 407 番地地先、下泉橋、高本谷橋、下八坂橋、高洲橋、浜野橋及び平成橋で調査を行った）ところ、調査した全地点で指針値以下であった。

（2）海域

ア 健康項目（表 4）

環境基準補助点（3 地点）及び市独自調査地点（2 地点）の全地点で環境基準及び環境目標を達成した。

イ 生活環境項目（表 5）

環境基準補助点では、千葉港 No.5 で「COD」が環境目標を達成しなかった。市独自調査地点では、東京湾 No.8 で「COD」が、東京湾 No.7 及び東京湾 No.8 で「全窒素」及び「全りん」が、それぞれ環境基準を（No.8 については環境目標も）達成しなかった。なお、底層溶存酸素量（底層 DO）については、環境基準の評価地点（環境基準点）はまだ定まっていないが、全 5 地点で環境基準を（うち、千葉港 No.5 及び東京湾 No.8 は環境目標も）達成しなかった。その他の項目は全地点で環境基準及び環境目標を達成した。

<環境基準値及び環境目標値を上回った地点の結果>

上段：環境基準及び環境目標値、下段：調査結果

(単位:mg/L)

| 調 査 地 点 | COD | 全窒素 | 全りん | 底層DO |
|----------|--------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| 千葉港 No.1 | | | | 環境基準:3mg/L 以上 |
| | | | | 2.5 |
| 千葉港 No.3 | | | | 環境基準:2mg/L 以上 |
| | | | | <0.5 |
| 千葉港 No.5 | 環境基準:8mg/L 以下 環境目標値:3mg/L以下 | | | 環境基準:2mg/L 以上 環境目標値:2mg/L以上 |
| | 3.5 | | | <0.5 |
| 東京湾 No.7 | | 環境基準:0.6mg/L 以下 | 環境基準:0.05mg/L 以下 | 環境基準:3mg/L 以上 |
| | | 0.77 | 0.10 | 1.8 |
| 東京湾 No.8 | 環境基準:3mg/L 以下 環境目標値:3mg/L以下 | 環境基準:0.6mg/L 以下 環境目標値:0.6mg/L以下 | 環境基準:0.05mg/L 以下 環境目標値:0.05mg/L以下 | 環境基準:3mg/L 以上 環境目標値:3mg/L以上 |
| | 4.0 | 0.95 | 0.094 | 0.9 |

ウ 要監視項目（表 6）

EPN 以外の 31 項目について環境基準補助点で調査を行ったところ、千葉港 No.1、千葉港 No.3 及び千葉港 No.5 で「ウラン」が指針値を超過した。その他の項目は調査した全地点で指針値以下であった。なお、ウランは海水中に天然に存在することが知られており、平均組成の濃度は 0.0033mg/L とされている※。

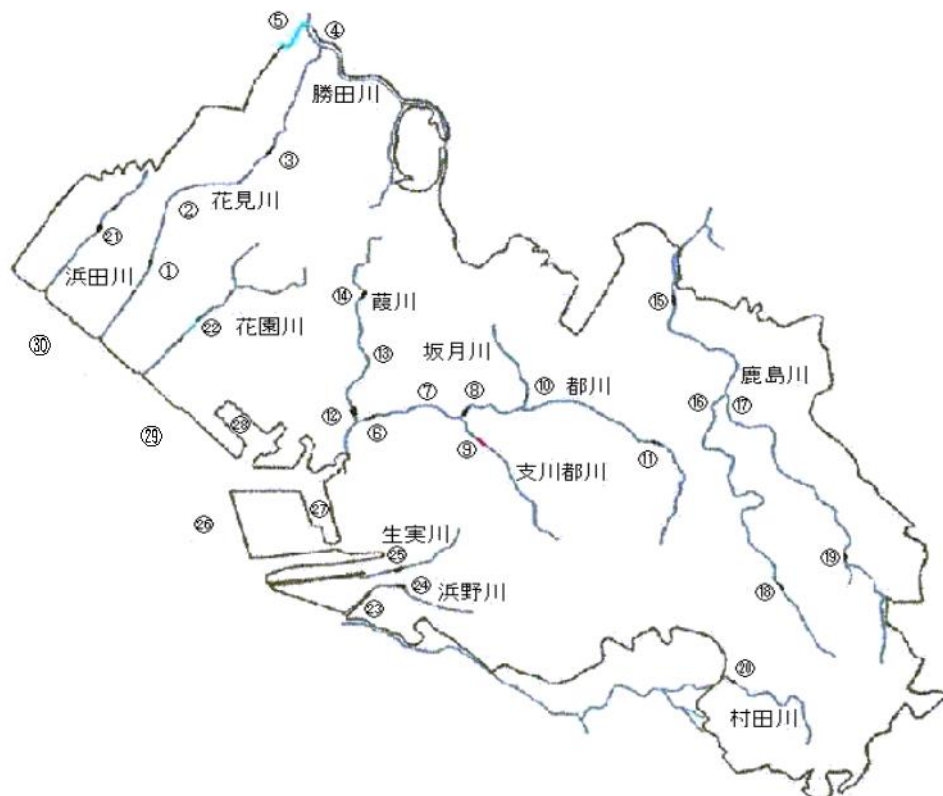
※環境科学辞典/荒木峻他編 東京化学同人,1985

<指針値を上回った地点の結果>

(単位:mg/L)

| 調 査 地 点 | ウラン |
|----------|------------------|
| | 指針値:0.002 mg/L以下 |
| 千葉港 No.1 | 0.0033 |
| 千葉港 No.3 | 0.0033 |
| 千葉港 No.5 | 0.0033 |

図1 公共用水域調査地点図



| 水域名 | 番号 | 調査地点名 |
|-----|-----|------------------------|
| 花見川 | ①* | 新花見川橋 |
| | 2 | 汐留橋 |
| | 3* | 花島橋 |
| | 4 | 勝田川管理橋 |
| | 5 | 八千代都市下水路 横戸町 33 番地先 |
| 都 川 | ⑥* | 都橋 |
| | 7 | 立会橋下 |
| | 8* | 青柳橋 |
| | 9* | 新都川橋 |
| | 10* | 辺田前橋 |
| | 11* | 高根橋 |
| 葭 川 | ⑫* | 日本橋 |
| | 13 | 都賀川橋梁 |
| | 14* | 源町 407 番地地先 |
| 鹿島川 | 15* | 下泉橋 |
| | 16 | 中田橋 |
| | 17 | 富田橋 |
| | 18* | 平川橋 |
| | 19* | 下大和田 1146 番地地先 |

| 水域名 | 番号 | 調査地点名 |
|-----|-----|----------|
| 村田川 | 20* | 高本谷橋 |
| 浜田川 | 21* | 下八坂橋 |
| 花園川 | 22* | 高洲橋 |
| 浜野川 | 23* | 浜野橋 |
| | 24 | どうみき橋 |
| 生実川 | 25* | 平成橋 |
| 海 域 | 26 | 千葉港 No.1 |
| | 27 | 千葉港 No.3 |
| | 28* | 千葉港 No.5 |
| | 29 | 東京湾 No.7 |
| | 30* | 東京湾 No.8 |

備考

○印は、環境基準点である。

□印は、環境基準補助点である。

―は、類型指定のある地点である。

* 印は、環境目標値が設定された
地点である。

表1 河川における健康項目の調査結果

(単位: mg/L)

| 河川名 | 地 点 名 | カドミウム (0.003以下) | 全シアン (検出されないこと) | 鉛 (0.01以下) | 六価クロム (0.02以下) | 砒素 (0.01以下) | 総水銀 (0.0005以下) |
|-----|----------------|--------------------|--------------------|---------------|-------------------|----------------|-------------------|
| | | 平均値 | 最大値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 ○ | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | 0.001 | <0.0005 |
| | 汐留橋 | <0.0003 | 不検出 | 0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| | 花島橋 | <0.0003 | 不検出 | 0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| | 勝田川管理橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | 0.001 | <0.0005 |
| | 八千代都市下水路 | <0.0003 | 不検出 | 0.001 | 0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| 都川 | 都橋 ○ | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | 0.001 | <0.0005 |
| | 立会橋下 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | 0.001 | <0.0005 |
| | 青柳橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | 0.001 | <0.0005 |
| | 新都川橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| | 辺田前橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | 0.002 | 0.0015 | <0.0005 |
| | 高根橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | 0.001 | <0.0005 |
| 葭川 | 日本橋 ○ | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | 0.001 | <0.0005 |
| | 都賀川橋梁 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | 0.001 | <0.0005 |
| | 源町407番地地先 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | 0.002 | 0.001 | <0.0005 |
| 鹿島川 | 下泉橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | 0.001 | <0.0005 |
| | 中田橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| | 富田橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| | 平川橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| | 下大和田町1,146番地地先 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| 村田川 | 高本谷橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| 浜田川 | 下八坂橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| 花園川 | 高洲橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | 0.0025 | <0.0005 |
| 浜野川 | 浜野橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| | どうみき橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |
| 生実川 | 平成橋 | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.002 | <0.001 | <0.0005 |

| 河川名 | 地 点 名 | ポリ塩化ビフェニル (検出されないこと) | トリクロロエチレン (0.01以下) | テトラクロロエチレン (0.01以下) | 四塩化炭素 (0.002以下) | 1,1,1-トリクロロエタン (1以下) | ふっ素 (0.8以下) |
|-----|----------------|-------------------------|-----------------------|------------------------|--------------------|-------------------------|----------------|
| | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 ○ | 不検出 | 0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.42 |
| | 汐留橋 | - | <0.001 | 0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 花島橋 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 勝田川管理橋 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 八千代都市下水路 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.26 |
| 都川 | 都橋 ○ | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.12 |
| | 立会橋下 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 青柳橋 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 新都川橋 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 辺田前橋 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 高根橋 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| 葭川 | 日本橋 ○ | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.09 |
| | 都賀川橋梁 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 源町407番地地先 | - | <0.001 | 0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| 鹿島川 | 下泉橋 | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 中田橋 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 富田橋 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 平川橋 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| | 下大和田町1,146番地地先 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | <0.08 |
| 村田川 | 高本谷橋 | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.09 |
| 浜田川 | 下八坂橋 | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.10 |
| 花園川 | 高洲橋 | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.71 |
| 浜野川 | 浜野橋 | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.23 |
| | どうみき橋 | - | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.21 |
| 生実川 | 平成橋 | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.28 |

| 河川名 | 地 点 名 | ほう素 (1以下) | 硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (10以下) | ジクロロメタン (0.02以下) | 1,2-ジクロロエタン (0.004以下) | 1,1-ジクロロエチレン (0.1以下) | シス-1,2 -ジクロロエチレン (0.04以下) |
|-----|----------------|--------------|-----------------------------|---------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 ○ | ※1.7 | 1.8 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 汐留橋 | <0.1 | 2.0 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 花島橋 | <0.1 | 1.9 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 勝田川管理橋 | <0.1 | 3.2 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 八千代都市下水路 | 0.1 | 3.5 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| 都川 | 都橋 ○ | 0.4 | 1.9 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 立会橋下 | <0.1 | 2.4 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 青柳橋 | <0.1 | 2.7 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 新都川橋 | <0.1 | 1.9 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 辺田前橋 | <0.1 | 3.4 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 高根橋 | <0.1 | 2.8 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| 葎川 | 日本橋 ○ | 0.2 | 3.5 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 都賀川橋梁 | <0.1 | 3.9 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 源町407番地地先 | <0.1 | 3.8 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| 鹿島川 | 下泉橋 | <0.1 | 3.5 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 中田橋 | <0.1 | 2.4 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 富田橋 | <0.1 | 4.5 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 平川橋 | <0.1 | 1.5 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | 下大和田町1,146番地地先 | <0.1 | 3.5 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| 村田川 | 高本谷橋 | <0.1 | 1.4 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| 浜田川 | 下八坂橋 | 0.5 | 4.2 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| 花園川 | 高洲橋 | ※3.2 | 1.2 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| 浜野川 | 浜野橋 | 0.7 | 1.1 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| | どうみき橋 | 0.7 | 1.1 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |
| 生実川 | 平成橋 | ※1.1 | 0.9 | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 |

| 河川名 | 地 点 名 | 1,1,2-トリクロロエタン (0.006以下) | 1,3-ジクロロプロペン (0.002以下) | ベンゼン (0.01以下) | 1,4-ジオキサン (0.05以下) |
|-----|----------------|-----------------------------|---------------------------|------------------|-----------------------|
| | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 ○ | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | <0.005 |
| | 汐留橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | 花島橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | 勝田川管理橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | 八千代都市下水路 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| 都川 | 都橋 ○ | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | <0.005 |
| | 立会橋下 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | 青柳橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | 新都川橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | 辺田前橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | 高根橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| 葎川 | 日本橋 ○ | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | <0.005 |
| | 都賀川橋梁 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | 源町407番地地先 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| 鹿島川 | 下泉橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | <0.005 |
| | 中田橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | 富田橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | 平川橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | 下大和田町1,146番地地先 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| 村田川 | 高本谷橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | <0.005 |
| 浜田川 | 下八坂橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| 花園川 | 高洲橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| 浜野川 | 浜野橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| | どうみき橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |
| 生実川 | 平成橋 | <0.0006 | <0.0002 | <0.001 | - |

| 河川名 | 地 点 名 | チウラム (0.006以下) | シマジン (0.003以下) | チオベンカルブ (0.02以下) | セレン (0.01以下) |
|-----|---------|-------------------|-------------------|---------------------|-----------------|
| | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 ○ | <0.0006 | <0.0003 | <0.002 | <0.001 |
| 都川 | 都橋 ○ | <0.0006 | <0.0003 | <0.002 | <0.001 |
| 葎川 | 日本橋 ○ | <0.0006 | <0.0003 | <0.002 | <0.001 |

備 考

- 健康項目に係る環境基準は、年間平均値(全シアンは最高値)で評価する。
- 項目名の下の()内は、環境基準値及び市環境目標値を示す。
- 地点名の「○」印は、環境基準点であることを示す。
- 「-」印は、測定していないことを示す。
- 総水銀が検出された場合、アルキル水銀を測定する。
- ※においては、測定地点が河口付近であり、海水の影響を受けていると考えられる。

表2 河川における生活環境項目の調査結果

(1) 花見川（環境基準 C 類型、生物 B 類型）

| 地点名 | pH | | | | 環境基準 | 環境目標値 | DO (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------------|-----|-----|-----|-----|---------|-------|-----------|------|------|------|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 新花見川橋 ○ | 8.3 | 8.0 | 7.9 | 7.9 | 6.5～8.5 | — | 8.6 | 7.9 | 6.8 | 7.9 | 5以上 | 5以上 |
| 汐留橋 | 8.4 | 8.1 | 8.4 | 8.1 | | | 12.4 | 10.8 | 11.1 | 10.3 | | — |
| 花島橋 | 8.1 | 7.9 | 8.2 | 7.9 | | | 10.3 | 8.9 | 10.5 | 8.4 | | 5以上 |
| 勝田川管理橋 △ | 7.7 | 7.7 | 7.8 | 7.8 | — | — | 8.7 | 8.1 | 8.2 | 8.2 | — | — |
| 八千代都市下水路 △ | 8.4 | 8.4 | 8.6 | 8.3 | | | 13.5 | 13.2 | 13.6 | 12.6 | | |

| 地点名 | BOD (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | SS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------------|------------|-----|-----|-----|------|-------|-----------|-----|-----|-----|-------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 新花見川橋 ○ | 2.9 | 2.1 | 1.8 | 2.0 | 5以下 | 5以下 | 5 | 4 | 5 | 4 | 50 以下 | — |
| 汐留橋 | 4.3 | 3.8 | 3.1 | 2.6 | | — | 7 | 8 | 7 | 7 | | |
| 花島橋 | 3.3 | 2.2 | 3.5 | 1.8 | | 5以下 | 5 | 6 | 7 | 6 | | |
| 勝田川管理橋 △ | 2.6 | 2.1 | 2.0 | 2.3 | — | — | 4 | 2 | 2 | 2 | — | — |
| 八千代都市下水路 △ | 1.0 | 1.4 | 1.4 | 1.6 | | | 2 | 3 | 2 | 2 | | |

| 地点名 | 全亜鉛 (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | ノニルフェノール (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|----------|------------|-------|-------|-------|--------|--------|-----------------|----------|----------|----------|---------|---------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 新花見川橋 ○ | 0.006 | 0.008 | 0.005 | 0.006 | 0.03以下 | 0.03以下 | 0.00009 | <0.00006 | <0.00006 | 0.00006 | 0.002以下 | 0.002以下 |
| 花島橋 | 0.008 | 0.008 | 0.007 | 0.011 | | | 0.00014 | 0.00019 | 0.00007 | <0.00006 | | |
| 勝田川管理橋 △ | 0.018 | 0.009 | 0.007 | 0.013 | | | 0.00011 | 0.00018 | <0.00006 | <0.00006 | | |

| 地点名 | LAS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|----------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 新花見川橋 ○ | 0.0030 | 0.0014 | 0.0015 | 0.0010 | 0.05以下 | 0.05以下 |
| 花島橋 | 0.003 | 0.0015 | 0.0026 | 0.0016 | | |
| 勝田川管理橋 △ | 0.008 | 0.0084 | 0.0047 | 0.0035 | | |

(2) 都川（環境基準 E 類型、生物 B 類型）

| 地点名 | pH | | | | 環境基準 | 環境目標値 | DO (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|--------|-----|-----|-----|-----|---------|-------|-----------|------|-----|-----|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 都橋 ○ | 8.0 | 7.9 | 7.9 | 7.8 | 6.0～8.5 | — | 8.2 | 8.2 | 7.7 | 7.8 | 2以上 | 5以上 |
| 立会橋下 | 7.9 | 7.9 | 7.9 | 7.9 | | | 9.6 | 9.5 | 9.0 | 9.0 | | — |
| 青柳橋 | 7.9 | 7.9 | 8.0 | 8.0 | | | 9.8 | 9.4 | 9.3 | 9.4 | | 7.5以上 |
| 新都川橋 △ | 7.9 | 7.8 | 7.9 | 8.0 | — | — | 9.5 | 9.1 | 9.1 | 9.6 | — | 5以上 |
| 辺田前橋 △ | 7.7 | 7.8 | 7.8 | 7.9 | | | 8.4 | 8.6 | 8.4 | 9.4 | | |
| 高根橋 | 7.9 | 8.0 | 8.1 | 8.1 | 6.0～8.5 | — | 9.4 | 10.1 | 9.5 | 9.6 | 2以上 | 7.5以上 |

| 地点名 | BOD (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | SS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|--------|------------|-----|-----|-----|------|-------|-----------|-----|-----|-----|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 都橋 ○ | 0.8 | 0.9 | 0.7 | 1.1 | 10以下 | 5以下 | 2 | 2 | 3 | 4 | * | — |
| 立会橋下 | 0.9 | 1.1 | 1.1 | 1.0 | | — | 4 | 4 | 9 | 6 | | |
| 青柳橋 | 0.8 | 1.5 | 0.9 | 0.9 | | 3以下 | 5 | 4 | 7 | 5 | | |
| 新都川橋 △ | 0.7 | 1.0 | 0.7 | 0.6 | — | — | 5 | 3 | 4 | 5 | — | — |
| 辺田前橋 △ | 1.7 | 1.1 | 1.0 | 1.4 | | | 4 | 3 | 2 | 5 | | |
| 高根橋 | 0.5 | 0.8 | 0.6 | 0.6 | 10以下 | 3以下 | 4 | 3 | 7 | 2 | * | — |

*は、ごみ等が認められないこと。

| 地点名 | 全亜鉛 (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | ノニルフェノール (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|--------|------------|-------|-------|-------|--------|--------|-----------------|---------|----------|----------|---------|---------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 都橋 ○ | 0.004 | 0.004 | 0.003 | 0.005 | 0.03以下 | 0.03以下 | 0.00010 | 0.00008 | <0.00006 | 0.00008 | 0.002以下 | 0.002以下 |
| 青柳橋 | 0.005 | 0.004 | 0.005 | 0.003 | | | 0.00010 | 0.00010 | 0.00015 | <0.00006 | | |
| 新都川橋 △ | 0.003 | 0.003 | 0.003 | 0.003 | | | 0.00009 | 0.00015 | <0.00006 | <0.00006 | | |
| 辺田前橋 △ | 0.009 | 0.008 | 0.006 | 0.005 | 0.03以下 | 0.03以下 | 0.00009 | 0.00010 | <0.00006 | <0.00006 | 0.002以下 | — |
| 高根橋 | 0.005 | 0.005 | 0.005 | 0.005 | | | 0.00007 | 0.00008 | <0.00006 | <0.00006 | | |

| 地点名 | LAS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|--------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 都橋 ○ | 0.0062 | 0.0053 | 0.0045 | 0.0038 | 0.05以下 | 0.05以下 |
| 青柳橋 | 0.0033 | 0.0032 | 0.0052 | 0.0027 | | |
| 新都川橋 △ | 0.0027 | 0.0049 | 0.0059 | 0.0028 | | |
| 辺田前橋 △ | 0.0122 | 0.0044 | 0.0072 | 0.0027 | — | — |
| 高根橋 | 0.0016 | 0.0024 | 0.0057 | 0.0020 | | |

(3) 葭川（環境基準 E 類型、生物 B 類型）

| 地点名 | pH | | | | 環境基準 | 環境目標値 | DO (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|---------|-------|-----------|------|------|------|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 日本橋 ○ | 8 | 8.0 | 7.9 | 7.9 | 6.0～8.5 | | 8.6 | 7.9 | 7.6 | 7.7 | 2以上 | 5以上 |
| 都賀川橋梁 △ | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 8.4 | | | 10.9 | 10.9 | 10.7 | 11.5 | | － |
| 源町407番地地先 △ | 8.1 | 8.0 | 8.1 | 8.1 | － | － | 9.9 | 9.5 | 9.2 | 9.3 | － | 5以上 |

| 地点名 | BOD (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | SS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|-------------|------------|-----|-----|-----|------|-------|-----------|-----|-----|-----|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 日本橋 ○ | 1.2 | 0.9 | 1.1 | 1.0 | 10以下 | 5以下 | 1 | 1 | 2 | 1 | * | |
| 都賀川橋梁 △ | 1.1 | 1.0 | 0.9 | 1.0 | | － | 1 | 1 | 2 | 1 | | － |
| 源町407番地地先 △ | 0.8 | 1.0 | 0.8 | 1.1 | － | 5以下 | 1 | <1 | 2 | 2 | － | |

*は、ごみ等が認められないこと。

| 地点名 | 全亜鉛 (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | ノニルフェノール (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|-------------|------------|-------|-------|-------|--------|--------|-----------------|---------|---------|----------|---------|---------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 日本橋 ○ | 0.009 | 0.010 | 0.005 | 0.007 | 0.03以下 | 0.03以下 | 0.00018 | 0.00013 | 0.00009 | 0.00008 | 0.002以下 | 0.002以下 |
| 源町407番地地先 △ | 0.015 | 0.015 | 0.008 | 0.012 | － | | 0.00027 | 0.00021 | 0.00020 | <0.00006 | － | |

| 地点名 | LAS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|-------------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 日本橋 ○ | 0.006 | 0.008 | 0.0075 | 0.0054 | 0.05以下 | |
| 源町407番地地先 △ | 0.003 | 0.0059 | 0.0043 | 0.0034 | － | 0.05以下 |

(4) 鹿島川（環境基準 A 類型、生物 B 類型）

| 地点名 | pH | | | | 環境基準 | 環境目標値 | DO (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------------------|-----|-----|-----|-----|---------|-------|-----------|------|------|------|-------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 下泉橋 | 7.8 | 7.9 | 8.0 | 7.9 | 6.5～8.5 | | 9.9 | 9.7 | 9.4 | 9.5 | 7.5以上 | 7.5以上 |
| 中田橋 △ | 8.0 | 8.1 | 8.4 | 8.2 | | | 11.3 | 11.5 | 11.4 | 10.8 | | － |
| 富田橋 △ | 7.9 | 8.0 | 8.0 | 8.1 | － | － | 10.3 | 10.2 | 9.9 | 10.3 | | |
| 平川橋 △ | 7.8 | 8.5 | 8.2 | 8.0 | | | 11.9 | 13.7 | 11.6 | 10.9 | | 7.5以上 |
| 下大和田町1,146番地地先 △ | 7.8 | 7.9 | 7.9 | 8.0 | | | 10.4 | 10.4 | 12.4 | 10.0 | | |

| 地点名 | BOD (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | SS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------------------|------------|-----|-----|-----|------|-------|-----------|-----|-----|-----|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 下泉橋 | 1.6 | 1.1 | 0.9 | 0.7 | 2以下 | 2以下 | 7 | 3 | 5 | 5 | 25以下 | |
| 中田橋 △ | 1.6 | 1.5 | 1.5 | 1.2 | | － | 4 | 4 | 4 | 5 | | － |
| 富田橋 △ | 0.9 | 1.6 | 0.9 | 0.8 | － | | 5 | 3 | 2 | 2 | | |
| 平川橋 △ | 1.4 | 1.3 | 1.5 | 1.3 | | 2以下 | 3 | 4 | 3 | 3 | | |
| 下大和田町1,146番地地先 △ | 1.0 | 1.1 | 0.9 | 0.9 | | | 4 | 4 | 3 | 3 | | |

| 地点名 | 大腸菌数 (CFU/100mL) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | 全亜鉛 (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------------------|------------------|--------|-------|-----|-------|-------|------------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 下泉橋 | － | 609 | 400 | 460 | 300以下 | 300以下 | 0.003 | 0.002 | 0.005 | 0.002 | 0.03以下 | 0.03以下 |
| 中田橋 △ | － | 46,113 | 380 | 700 | | | － | － | － | － | | － |
| 富田橋 △ | － | 190 | 160 | 430 | － | － | － | － | － | － | | |
| 平川橋 △ | － | 328 | 3,300 | 540 | | | 0.003 | 0.001 | 0.002 | 0.001 | | 0.03以下 |
| 下大和田町1,146番地地先 △ | － | 321 | 720 | 430 | | | 0.002 | 0.002 | 0.001 | 0.002 | | |

| 地点名 | ノニルフェノール (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | LAS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------------------|-----------------|---------|----------|----------|---------|---------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 下泉橋 | 0.00013 | 0.00010 | <0.00006 | <0.00006 | 0.002以下 | | 0.00140 | 0.0011 | 0.0018 | 0.0008 | 0.05以下 | |
| 平川橋 △ | 0.00011 | 0.00010 | 0.00013 | 0.00006 | | 0.002以下 | 0.00170 | 0.0010 | 0.0035 | 0.0028 | | 0.05以下 |
| 下大和田町1,146番地地先 △ | 0.00008 | 0.00011 | <0.00006 | 0.00007 | － | | 0.00110 | 0.0011 | 0.0020 | 0.0011 | － | |

(5) 村田川（環境基準 C 類型）

| 地点名 | pH | | | | 環境基準 | 環境目標値 | DO (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------|-----|-----|-----|-----|---------|-------|-----------|-----|-----|-----|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 高本谷橋 | 7.6 | 7.7 | 7.7 | 7.8 | 6.5～8.5 | － | 9.4 | 9.4 | 8.7 | 9.0 | 5以上 | 7.5以上 |

| 地点名 | BOD (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | SS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------|------------|-----|-----|-----|------|-------|-----------|-----|-----|-----|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 高本谷橋 | 1.0 | 1.1 | 1.0 | 0.9 | 5以下 | 2以下 | 5 | 4 | 4 | 5 | 50以下 | － |

| 地点名 | 全亜鉛 (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | ノニルフェノール (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------|------------|-------|-------|-------|--------|--------|-----------------|---------|---------|----------|---------|---------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 高本谷橋 | 0.003 | 0.002 | 0.001 | 0.003 | 0.03以下 | 0.03以下 | 0.00015 | 0.00008 | 0.00009 | <0.00006 | 0.002以下 | 0.002以下 |

| 地点名 | LAS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 高本谷橋 | 0.0015 | 0.0024 | 0.0013 | 0.0012 | 0.05以下 | 0.05以下 |

(6) その他

| 地点名 | | pH | | | | 環境基準 | 環境目標値 | DO (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|-----|---------|-----|-----|-----|-----|------|-------|-----------|------|------|------|------|-------|
| | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 浜田川 | 下八坂橋 △ | 8.9 | 8.8 | 8.6 | 8.6 | - | - | 15.1 | 16.0 | 14.8 | 12.7 | - | 5以上 |
| 花園川 | 高洲橋 △ | 8.3 | 8.1 | 8.0 | 8.1 | | | 6.6 | 6.5 | 5.5 | 6.6 | | |
| 浜野川 | 浜野橋 △ | 8.0 | 7.9 | 7.7 | 7.8 | | | 7.2 | 7.6 | 6.4 | 6.8 | | |
| 浜野川 | どうみき橋 △ | 8.0 | 7.9 | 7.8 | 7.8 | | | 7.7 | 8.0 | 6.6 | 7.1 | | |
| 生実川 | 平成橋 △ | 7.9 | 7.8 | 7.7 | 7.8 | | | 8.1 | 8.2 | 7.1 | 9.0 | | |

| 地点名 | | BOD (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | SS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|-----|---------|------------|-----|-----|-----|------|-------|-----------|-----|-----|-----|------|-------|
| | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 浜田川 | 下八坂橋 △ | 1.9 | 1.9 | 1.8 | 1.7 | - | 5以下 | 4 | 3 | 6 | 3 | - | - |
| 花園川 | 高洲橋 △ | 1.6 | 1.4 | 1.1 | 1.6 | | 3以下 | 3 | 2 | 3 | 2 | | |
| 浜野川 | 浜野橋 △ | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.1 | | - | 2 | 1 | 2 | 2 | | |
| 浜野川 | どうみき橋 △ | 1.0 | 1.2 | 1.2 | 0.9 | | - | 2 | 2 | 1 | 1 | | |
| 生実川 | 平成橋 △ | 1.0 | 1.3 | 2.0 | 1.5 | | 3以下 | 5 | 5 | 6 | 8 | | |

| 地点名 | | 全亜鉛 (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | ノニルフェノール (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|-----|--------|------------|-------|-------|-------|------|--------|-----------------|---------|----------|----------|------|---------|
| | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 浜田川 | 下八坂橋 △ | 0.005 | 0.003 | 0.006 | 0.006 | - | 0.03以下 | 0.00007 | 0.00011 | <0.00006 | <0.00006 | - | 0.002以下 |
| 花園川 | 高洲橋 △ | 0.009 | 0.004 | 0.006 | 0.007 | | | 0.00008 | 0.00010 | <0.00006 | <0.00006 | | |
| 浜野川 | 浜野橋 △ | 0.013 | 0.010 | 0.008 | 0.008 | | | 0.00014 | 0.00012 | <0.00006 | <0.00006 | | |
| 生実川 | 平成橋 △ | 0.007 | 0.005 | 0.004 | 0.004 | | | 0.00012 | 0.00011 | 0.00011 | 0.00007 | | |

| 地点名 | | LAS (mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|-----|--------|------------|--------|--------|--------|------|--------|
| | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 浜田川 | 下八坂橋 △ | 0.0139 | 0.0078 | 0.0078 | 0.0126 | - | 0.05以下 |
| 花園川 | 高洲橋 △ | 0.0030 | 0.0024 | 0.0058 | 0.0019 | | |
| 浜野川 | 浜野橋 △ | 0.0073 | 0.0080 | 0.0101 | 0.0018 | | |
| 生実川 | 平成橋 △ | 0.0029 | 0.0029 | 0.0029 | 0.0014 | | |

備 考

1. 地点名の「○」印は、環境基準点であることを示す。
また、「△」印は、類型指定されていない調査地点であることを示す。
2. BOD は年間 75%値、大腸菌数は 90%水質値、その他は年間平均値である。

表3 河川における要監視項目の調査結果

(単位: mg/L)

| 河川名 | 地 点 名 | | EPN (0.006以下) | フタル酸ジエチル ヘキシル (0.06以下) | ニッケル | アンチモン (0.02以下) | モリブデン (0.07以下) | トランス-1,2-ジク ロロエチレン (0.04以下) |
|-----|-------|---|------------------|------------------------------|--------|-------------------|-------------------|-----------------------------------|
| | | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 | ○ | <0.00006 | <0.005 | 0.003 | <0.001 | 0.004 | <0.004 |
| 都川 | 都橋 | ○ | <0.00006 | <0.005 | <0.001 | <0.001 | 0.001 | <0.004 |
| 葭川 | 日本橋 | ○ | <0.00006 | <0.005 | <0.001 | <0.001 | 0.001 | <0.004 |

| 河川名 | 地 点 名 | | 1,2-ジクロロプロ パン (0.06以下) | p-ジクロロベンゼ ン (0.2以下) | イソキサチオン (0.008以下) | ダイアジノン (0.005以下) | フェニトロチオン (0.003以下) | イソプロチオラン (0.04以下) |
|-----|-------|---|------------------------------|---------------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|----------------------|
| | | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 | ○ | <0.006 | <0.02 | <0.0008 | <0.0005 | <0.0003 | <0.004 |
| 都川 | 都橋 | ○ | <0.006 | <0.02 | <0.0008 | <0.0005 | <0.0003 | <0.004 |
| 葭川 | 日本橋 | ○ | <0.006 | <0.02 | <0.0008 | <0.0005 | <0.0003 | <0.004 |

| 河川名 | 地 点 名 | | オキシ銅 (0.04以下) | クロロタロニル (0.05以下) | プロピザミド (0.008以下) | ジクロロボス (0.008以下) | フェノブカルブ (0.03以下) | イプロベンホス (0.008以下) |
|-----|-------|---|------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|
| | | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 | ○ | <0.004 | <0.004 | <0.0008 | <0.0008 | <0.002 | <0.0008 |
| 都川 | 都橋 | ○ | <0.004 | <0.004 | <0.0008 | <0.0008 | <0.002 | <0.0008 |
| 葭川 | 日本橋 | ○ | <0.004 | <0.004 | <0.0008 | <0.0008 | <0.002 | <0.0008 |

| 河川名 | 地 点 名 | | クロルニトロフェン | トルエン (0.6以下) | キシレン (0.4以下) | 塩化ビニルモノ マー (0.002以下) | エビクロロヒドリン (0.0004以下) | 全マンガン (0.2以下) |
|-----|-------|---|-----------|-----------------|-----------------|----------------------------|-------------------------|------------------|
| | | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 | ○ | <0.0001 | <0.06 | <0.04 | <0.0002 | <0.00004 | 0.04 |
| 都川 | 都橋 | ○ | <0.0001 | <0.06 | <0.04 | <0.0002 | <0.00004 | 0.07 |
| 葭川 | 日本橋 | ○ | <0.0001 | <0.06 | <0.04 | <0.0002 | <0.00004 | 0.03 |

| 河川名 | 地 点 名 | | ウラン (0.002以下) | クロロホルム (0.06以下) | フェノール (0.08以下) | ホルムアルデヒド (1以下) | 4-tert-オクチルフェ ノール (0.004以下) | アニリン (0.02以下) |
|-----|-------|---|------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-----------------------------------|------------------|
| | | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 | ○ | 0.0012 | <0.0006 | <0.001 | <0.1 | <0.00004 | <0.002 |
| 都川 | 都橋 | ○ | 0.0006 | <0.0006 | <0.001 | <0.1 | <0.00004 | <0.002 |
| 葭川 | 日本橋 | ○ | 0.0006 | <0.0006 | <0.001 | <0.1 | <0.00004 | <0.002 |

| 河川名 | 地 点 名 | | 2,4-ジクロロフェ ノール (0.03以下) |
|-----|-------|---|-------------------------------|
| | | | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 | ○ | <0.0003 |
| 都川 | 都橋 | ○ | <0.0003 |
| 葭川 | 日本橋 | ○ | <0.0003 |

| 河川名 | 地 点 名 | | PFOS及びPFOA (0.00005以下) |
|-----|-----------|---|---------------------------|
| | | | 平均値 |
| 花見川 | 新花見川橋 | ○ | 0.000010 |
| 都川 | 都橋 | ○ | 0.000013 |
| 葭川 | 日本橋 | ○ | 0.000024 |
| | 源町407番地地先 | | 0.000037 |
| 鹿島川 | 下泉橋 | | 0.000012 |
| 村田川 | 高本谷橋 | | 0.000012 |
| 浜田川 | 下八坂橋 | | 0.000017 |
| 花園川 | 高洲橋 | | 0.000010 |
| 浜野川 | 浜野橋 | | 0.000018 |
| 生実川 | 平成橋 | | 0.000023 |

備 考

1. 項目名の下の（ ）内は、指針値を示す。
2. 地点名の「○」印は、環境基準点を示す。

表4 海域における健康項目の調査結果

(単位: mg/L)

| 地 点 名 | | カドミウム (0.003以下) | 全シアン (検出されないこと) | 鉛 (0.01以下) | 六価クロム (0.05以下) | 砒素 (0.01以下) | 総水銀 (0.0005以下) |
|----------|---|-------------------------|--------------------------|-------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | | 平均値 | 最大値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 千葉港 No.1 | ※ | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.005 | 0.001 | <0.0005 |
| 千葉港 No.3 | ※ | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.005 | 0.001 | <0.0005 |
| 千葉港 No.5 | ※ | <0.0003 | 不検出 | <0.001 | <0.005 | 0.001 | <0.0005 |
| 東京湾 No.8 | | <0.0003 | 不検出 | 0.001 | <0.005 | 0.001 | <0.0005 |
| 地 点 名 | | ポリ塩化ビフェニル (検出されないこと) | トリクロロエチレン (0.01以下) | テトラクロロエチレン (0.01以下) | 四塩化炭素 (0.002以下) | 1,1,1-トリクロロエタン (1以下) | 硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (10以下) |
| | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 千葉港 No.1 | ※ | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.33 |
| 千葉港 No.3 | ※ | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.30 |
| 千葉港 No.5 | ※ | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.34 |
| 東京湾 No.8 | | 不検出 | <0.001 | <0.001 | <0.0002 | <0.1 | 0.43 |
| 地 点 名 | | ジクロロメタン (0.02以下) | 1,2-ジクロロエタン (0.004以下) | 1,1-ジクロロエチレン (0.1以下) | シス-1,2-ジクロロエチレン (0.04以下) | 1,1,2-トリクロロエタン (0.006以下) | 1,3-ジクロロプロパン (0.002以下) |
| | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 千葉港 No.1 | ※ | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 | <0.0006 | <0.0002 |
| 千葉港 No.3 | ※ | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 | <0.0006 | <0.0002 |
| 千葉港 No.5 | ※ | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 | <0.0006 | <0.0002 |
| 東京湾 No.8 | | <0.002 | <0.0004 | <0.002 | <0.004 | <0.0006 | <0.0002 |
| 地 点 名 | | ベンゼン (0.01以下) | チウラム (0.006以下) | シマジン (0.003以下) | チオベンカルブ (0.02以下) | セレン (0.01以下) | 1,4-ジオキサン (0.05以下) |
| | | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 千葉港 No.1 | ※ | <0.001 | <0.0006 | <0.0003 | <0.002 | <0.001 | <0.005 |
| 千葉港 No.3 | ※ | <0.001 | <0.0006 | <0.0003 | <0.002 | <0.001 | <0.005 |
| 千葉港 No.5 | ※ | <0.001 | <0.0006 | <0.0003 | <0.002 | <0.001 | <0.005 |
| 東京湾 No.8 | | <0.001 | — | — | — | — | <0.005 |

備 考

- 健康項目に係る環境基準は、年間平均値(全シアンは最高値)で評価する。
- 項目名の下の()内は、環境基準値及び市環境目標値を示す。
- 地点名の「※」印は、環境基準補助点であることを示す。
- 「-」印は、測定していないことを示す。
- 総水銀が検出された場合、アルキル水銀を測定する。

表5 海域における生活環境項目の調査結果

(1) 千葉港 (C・IV 類型：環境基準補助点、生物 A 類型)

| 地点名 | pH | | | | 環境基準 | 環境目標値 | DO(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------------|-----|-----|-----|-----|---------|-------|----------|-----|-----|-----|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 千葉港 No.1 ※ | 8.5 | 8.3 | 8.2 | 8.3 | 7.0～8.3 | - | 7.0 | 7.0 | 6.3 | 7.6 | 2以上 | - |
| 千葉港 No.3 ※ | 8.4 | 8.2 | 8.0 | 8.1 | | | 5.7 | 6.1 | 5.7 | 6.1 | | |
| 千葉港 No.5 ※ | 8.4 | 8.1 | 8.1 | 8.1 | | | 5.8 | 5.9 | 5.7 | 6.6 | | 5以上 |

| 地点名 | COD(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | 全窒素(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------------|-----------|-----|-----|-----|------|-------|-----------|------|------|------|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 千葉港 No.1 ※ | 2.6 | 3.5 | 3.4 | 3.6 | 8以下 | - | 0.64 | 0.62 | 0.61 | 0.69 | 1以下 | - |
| 千葉港 No.3 ※ | 2.3 | 3.1 | 3.2 | 3.5 | | | 0.82 | 0.86 | 0.83 | 0.71 | | |
| 千葉港 No.5 ※ | 2.5 | 2.7 | 3.2 | 3.5 | | | 0.78 | 0.67 | 0.70 | 0.72 | | 1以下 |

| 地点名 | 全りん(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | 全亜鉛(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------------|-----------|-------|-------|-------|--------|-------|-----------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 千葉港 No.1 ※ | 0.071 | 0.065 | 0.069 | 0.070 | 0.09以下 | - | 0.004 | 0.008 | 0.004 | 0.004 | 0.02以下 | - |
| 千葉港 No.3 ※ | 0.068 | 0.072 | 0.072 | 0.067 | | | 0.003 | 0.006 | 0.003 | 0.004 | | |
| 千葉港 No.5 ※ | 0.091 | 0.088 | 0.076 | 0.079 | | | 0.003 | 0.004 | 0.004 | 0.003 | | 0.02以下 |

| 地点名 | ノニルフェノール(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | LAS(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------------|----------------|---------|----------|---------|---------|-------|-----------|--------|--------|---------|--------|--------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 千葉港 No.1 ※ | 0.00009 | 0.00007 | 0.00011 | 0.00007 | 0.001以下 | - | 0.00 | 0.010 | 0.0010 | <0.0006 | 0.01以下 | - |
| 千葉港 No.3 ※ | 0.00009 | 0.00007 | <0.00006 | 0.00008 | | | <0.0006 | 0.010 | 0.0008 | 0.0008 | | |
| 千葉港 No.5 ※ | 0.00010 | 0.00007 | 0.00008 | 0.00008 | | | <0.0006 | 0.0007 | 0.0006 | <0.0006 | | 0.01以下 |

| 地点名 | 底層DO(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|------------|------------|------|------|------|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 千葉港 No.1 ※ | 6.3 | 1.7 | 1.5 | 2.5 | 3以上 | - |
| 千葉港 No.3 ※ | 3.8 | <0.5 | <0.5 | <0.5 | 2以上 | 2以上 |
| 千葉港 No.5 ※ | 4.2 | <0.5 | <0.5 | <0.5 | | |

(2) 東京湾 (C・III 類型：市独自調査地点 No. 7、B・III 類型：市独自調査地点 No. 8、生物 A 類型)

| 地点名 | pH | | | | 環境基準 | 環境目標値 | DO(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|----------|-----|-----|-----|-----|---------|-------|----------|-----|-----|-----|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 東京湾 No.7 | 8.0 | 8.0 | 8.1 | 8.1 | 7.0～8.3 | - | 6.8 | 6.7 | 6.4 | 6.9 | 2以上 | - |
| 東京湾 No.8 | 8.5 | 8.3 | 8.2 | 8.3 | 7.8～8.3 | - | 7.3 | 6.8 | 6.6 | 7.5 | 5以上 | 5以上 |

| 地点名 | COD(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | 全窒素(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|----------|-----------|-----|-----|-----|------|-------|-----------|------|------|------|-------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 東京湾 No.7 | 2.7 | 3.5 | 3.3 | 3.2 | 8以下 | - | 0.74 | 0.68 | 0.66 | 0.77 | 0.6以下 | - |
| 東京湾 No.8 | 3.0 | 3.1 | 3.5 | 4.0 | 3以下 | 3以下 | 0.74 | 0.88 | 0.74 | 0.95 | 0.6以下 | 0.6以下 |

| 地点名 | 全りん(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | 全亜鉛(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|----------|-----------|-------|-------|-------|--------|-------|-----------|-------|-------|-------|------|--------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 東京湾 No.7 | 0.12 | 0.11 | 0.11 | 0.10 | 0.05以下 | - | - | - | - | - | - | - |
| 東京湾 No.8 | 0.082 | 0.089 | 0.079 | 0.094 | | | 0.004 | 0.013 | 0.005 | 0.006 | | 0.02以下 |

| 地点名 | ノニルフェノール(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 | LAS(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|----------|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|--------|--------|---------|--------|--------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 東京湾 No.8 | 0.00010 | 0.00007 | 0.00008 | 0.00007 | 0.001以下 | 0.001以下 | <0.0006 | 0.0009 | 0.0006 | <0.0006 | 0.01以下 | 0.01以下 |

| 地点名 | 底層DO(mg/L) | | | | 環境基準 | 環境目標値 |
|----------|------------|-----|-----|-----|------|-------|
| | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | | |
| 東京湾 No.7 | 6.6 | 1.3 | 1.3 | 1.8 | 3以上 | - |
| 東京湾 No.8 | 6.8 | 1.2 | 1.5 | 0.9 | 3以上 | 3以上 |

備考

1. 地点名の「※」印は、環境基準補助点を示す。
2. COD は「各月の上層下層平均値」の年間 75 値、全窒素/全りんは上層のみの年間平均値、底層 DO は下層のみの年間最低値、その他は上層下層の年間平均値である。
なお、底層 DO は環境基本法の評価方法にあわせるため、令和 4 年度より年間最低値を示している。(令和 3 年度以前は年間平均値)
3. 「-」印は、測定していないことを示す。

表6 海域における要監視項目の調査結果

(単位: mg/L)

| 地 点 名 | EPN (0.006以下) | フタル酸ジエチル ヘキシル (0.06以下) | ニッケル | アンチモン (0.02以下) | モリブデン (0.07以下) | トランス-1,2-ジク ロロエチレン (0.04以下) |
|------------|------------------|------------------------------|-------|-------------------|-------------------|-----------------------------------|
| | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 千葉港 No.1 ※ | — | <0.006 | <0.01 | <0.001 | 0.019 | <0.004 |
| 千葉港 No.3 ※ | — | <0.006 | <0.01 | <0.001 | 0.010 | <0.004 |
| 千葉港 No.5 ※ | — | <0.006 | <0.01 | <0.001 | 0.010 | <0.004 |

| 地 点 名 | 1,2-ジクロロプロ パン (0.06以下) | p-ジクロロベンゼ ン (0.2以下) | イソキサチオン (0.008以下) | ダイアジノン (0.005以下) | フェントロチオン (0.003以下) | イソプロチオラン (0.04以下) |
|------------|------------------------------|---------------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|----------------------|
| | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 千葉港 No.1 ※ | <0.006 | <0.02 | <0.0008 | <0.0005 | <0.0003 | <0.004 |
| 千葉港 No.3 ※ | <0.006 | <0.02 | <0.0008 | <0.0005 | <0.0003 | <0.004 |
| 千葉港 No.5 ※ | <0.006 | <0.02 | <0.0008 | <0.0005 | <0.0003 | <0.004 |

| 地 点 名 | オキシ銅 (0.04以下) | クロロタロニル (0.05以下) | プロピザミド (0.008以下) | ジクロルボス (0.008以下) | フェノブカルブ (0.03以下) | イプロベンホス (0.008以下) |
|------------|------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|
| | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 千葉港 No.1 ※ | <0.004 | <0.004 | <0.0008 | <0.0008 | <0.002 | <0.0008 |
| 千葉港 No.3 ※ | <0.004 | <0.004 | <0.0008 | <0.0008 | <0.002 | <0.0008 |
| 千葉港 No.5 ※ | <0.004 | <0.004 | <0.0008 | <0.0008 | <0.002 | <0.0008 |

| 地 点 名 | クロルニトロフェン | トルエン (0.6以下) | キシレン (0.4以下) | 塩化ビニルモノ マー (0.002以下) | エピクロヒドリ ン (0.0004以下) | 全マンガン (0.2以下) |
|------------|-----------|-----------------|-----------------|----------------------------|----------------------------|------------------|
| | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 千葉港 No.1 ※ | <0.0001 | <0.06 | <0.04 | <0.0002 | <0.00004 | 0.03 |
| 千葉港 No.3 ※ | <0.0001 | <0.06 | <0.04 | <0.0002 | <0.00004 | 0.04 |
| 千葉港 No.5 ※ | <0.0001 | <0.06 | <0.04 | <0.0002 | <0.00004 | 0.04 |

| 地 点 名 | ウラン (0.002以下) | クロロホルム (0.06以下) | フェノール (0.08以下) | ホルムアルデヒド (1以下) | 4-tert-オクチルフェ ノール (0.004以下) | アニリン (0.02以下) |
|------------|------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-----------------------------------|------------------|
| | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 | 平均値 |
| 千葉港 No.1 ※ | 0.0033 | <0.006 | <0.02 | <0.003 | <0.00004 | <0.002 |
| 千葉港 No.3 ※ | 0.0033 | <0.006 | <0.02 | <0.003 | <0.00004 | <0.002 |
| 千葉港 No.5 ※ | 0.0033 | <0.006 | <0.02 | <0.003 | <0.00004 | <0.002 |

| 地 点 名 | 2,4-ジクロロフェ ノール (0.03以下) | PFOS及びPFOA (0.00005以下) |
|------------|-------------------------------|---------------------------|
| | 平均値 | 平均値 |
| 千葉港 No.1 ※ | <0.0003 | 0.0000028 |
| 千葉港 No.3 ※ | <0.0003 | 0.0000027 |
| 千葉港 No.5 ※ | <0.0003 | 0.0000030 |

備 考

1. 項目名の下の()内は、指針値を示す。
2. 地点名の「※」印は、環境基準補助地点を示す。
3. 「-」印は、測定していないことを示す。

令和 6 年度地下水水質調査結果

○概況調査（※）

測定計画に基づく概況調査（15 地点）においては、全地点で環境基準を達成した。

○継続監視調査

これまでに汚染井戸が確認されている地区の継続的な監視を目的として、環境基準値を超過した項目について調査を実施した。

1 揮発性有機化合物

継続監視調査（21 地点）においては、8 地点で汚染を確認した。

2 六価クロム

継続監視調査（2 地点）においては、1 地点で汚染を確認した

3 砒素

継続監視調査（5 地点）においては、全地点で汚染を確認した。

○市独自調査

測定計画等により汚染が確認された地区等を対象に、その汚染範囲の確認を目的として調査を実施した。

1 揮発性有機化合物

市独自調査（31 地点）においては、5 地点で汚染を確認した。

2 六価クロム

市独自調査（243 地点）においては、35 地点で汚染を確認した。

3 砒素

市独自調査（4 地点）においては、汚染がなかったことを確認した。

本市としては、環境基準の早期達成に向け、引き続き、工場・事業場に対する規制・指導を行うことで、各種施策が適切に図られるよう関係機関と連携して取り組んでいく。

（※）概況調査：水質汚濁防止法に基づき、地域の全体的な地下水質の概況を把握することを目的に行う調査。市内を 2km メッシュに区分し、5 年間で全メッシュ（72）を調査する。

1 調査内容

（1）測定計画（法に基づく調査）

測定計画は、水質汚濁防止法第 16 条第 1 項の規定により各都道府県が毎年作成するもので、地下水に係る環境基準監視は、同計画に基づき実施している。

測定計画はその調査目的により、地域の全体的な地下水質の概況を把握することを目的として、全ての環境基準項目について調査する概況調査（年 1 回・15 地点）と、これまでに汚染井戸が確認されている地区の継続的な監視を目的として、環境基準値を超過した項目について調査を実施する継続監視調査（旧定期モニタリング調査）（年 1 回・28 地点）に分けられる。

（2）汚染井戸周辺調査等（市独自調査）

測定計画等により汚染が確認された地区等を対象に、その汚染範囲の確認を目的として汚染物質について 278 地点で調査した。

2 調査結果

(1) 揮発性有機化合物

67 調査地点のうち、13 地点から環境基準値を超える揮発性有機化合物が検出された。なお、新たな環境基準値超過は確認されなかった。

表 1 揮発性有機化合物調査結果

| 調 査 名 | | 調査地区 | 調査地点数 | 基準値超過地点数 (測定地点) |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------|--------------------|
| 測定計画 (法に基づく調査) | 概況調査 | 中央区、稲毛区、若葉区、 緑区、美浜区 | 15 | 0 |
| | 継続監視調査 | 花見川区、稲毛区、若葉区、 緑区、美浜区 | 21 | 8 (※1) |
| 市独自調査 | 汚染井戸周辺調査及び 汚染状況観測井調査 | 中央区、花見川区、稲毛区、 若葉区 | 31 | 5 (※2) |
| 合 計 (地点) | | | 67 | 13 |

※1 継続監視調査基準値超過地点

花見川区 武石町 1 丁目、幕張町 2 丁目
 稲毛区 長沼原町、天台 4 丁目、小仲台 6 丁目、作草部町
 若葉区 小倉台 6 丁目
 美浜区 幸町 1 丁目

※2 市独自調査基準値超過地点

花見川区 幕張町 2 丁目
 稲毛区 長沼原町(2 地点)、山王町、宮野木町

(2) 六価クロム

260 調査地点のうち、36 地点から環境基準値を超える六価クロムが検出された。なお、生実町及び南生実町における汚染井戸周辺調査及び町内自治会要望調査等において、新たな環境基準値超過は、生実町 4 地点及び南生実町 1 地点で確認された。

表 2 六価クロム調査結果

| 調 査 名 | | 調査地区 | 調査地点数 | 基準値超過地点数 (測定地点) |
|-------------------|-------------------------|------------------------|-------|-------------------------|
| 測定計画 (法に基づく調査) | 概況調査 | 中央区、稲毛区、若葉区、 緑区、美浜区 | 15 | 0 |
| | 継続監視調査 | 中央区、稲毛区 | 2 | 1 (中央区生実町) |
| 市独自調査 | 汚染井戸周辺調査及び 町内自治会要望調査 | 中央区 | 243 | 35 (中央区生実町、 南生実町) |
| 合 計 (地点) | | | 260 | 36 |

注) 地下水環境基準 : 0.02 mg/ℓ 以下

(3) 砒素

24 調査地点のうち、5 地点から環境基準値を超える砒素が検出された。なお、新たな環境基準値超過は確認されなかった。

表 3 砒素調査結果

| 調 査 名 | | 調査地区 | 調査地点数 | 基準値超過地点数 (測定地点) |
|-------------------|--------|------------------------|-------|-----------------------------------|
| 測定計画 (法に基づく調査) | 概況調査 | 中央区、稲毛区、若葉区、 緑区、美浜区 | 15 | 0 |
| | 継続監視調査 | 若葉区、緑区 | 5 | 5 (若葉区愛生町、大井戸町、多部田町、更科町、緑区越智町) |
| 市独自調査 | 汚染確認調査 | 稲毛区 | 4 | 0 |
| 合 計 (地点) | | | 24 | 5 |

注) 地下水環境基準 : 0.01 mg/ℓ 以下

(4) 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

15 調査地点のうち、全地点で環境基準を達成した。

表 4 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素測定結果

| 調 査 名 | | 調 査 区 | 調査地点数 | 基準値超過地点数 (測定地点) |
|-------------------|------|------------------------|-------|--------------------|
| 測定計画 (法に基づく調査) | 概況調査 | 中央区、稲毛区、若葉区、 緑区、美浜区 | 15 | 0 |
| 合 計 (地点) | | | 15 | 0 |

注) 地下水環境基準 : 10 mg/ℓ 以下

(5) その他

概況調査を実施した 15 地点で地下水質に係る要監視項目である PFOS 及び PFOA の調査を行ったところ、全地点で指針値の数値を下回った。

また、3 地点で地下水質に係る要監視項目 6 項目の調査を行ったところ、全地点で指針値の数値を下回った。

調査した 6 項目 : EPN、アンチモン、ニッケル、エピクロロヒドリン、全マンガン、ウラン

令和 6 年度自動車騒音調査結果

騒音規制法第 18 条第 1 項の規定に基づき、自動車騒音の状況を調査し、対象地域における環境基準の達成状況を評価（面的評価）した。過去 5 か年度分の調査結果から行った市全域の主要幹線道路における評価は、以下のとおりである。

| 評価結果 | 市全域の評価（R2～R6） | 令和 6 年度調査分 |
|------------|-----------------|-----------------|
| 評価対象住居等戸数 | 61,751 戸 | 20,354 戸 |
| 昼夜間とも基準値以下 | 57,952 戸（93.8%） | 18,671 戸（91.7%） |
| 昼間のみ基準値以下 | 1,231 戸（2.0%） | 489 戸（2.4%） |
| 夜間のみ基準値以下 | 485 戸（0.8%） | 64 戸（0.3%） |
| 昼夜間とも基準値超過 | 2,083 戸（3.4%） | 1,130 戸（5.6%） |

調査結果については、自動車騒音の改善に取り組むよう関係機関に情報提供している。

1 調査内容

道路に面する地域における環境基準の達成状況の評価は、一定の地域ごとに当該地域内のすべての住居等のうち、環境基準の基準値を超過する戸数及び超過する割合を把握することにより行うこととなっている（面的評価）。

市では、平成 14 年度から、主要幹線道路に面する地域を対象に面的評価を行っている。また、平成 16 年度からは主要幹線道路の全評価区間を 5 か年に分けて計画的に調査しており、平成 20 年度以降、過去 5 か年度分の調査結果をもとに、毎年度市全域の面的評価を行っている。

令和 6 年度は、調査計画に基づき、16 路線・44 地点（定点 14 地点（図 1）及び準定点 30 地点（図 2））・50 評価区間において自動車騒音の状況を調査し、対象地域の面的評価を行うとともに、令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 か年度分の調査結果をもとに、市全域の面的評価を行った。

2 調査結果

(1) 令和 6 年度分の調査による面的評価結果

ア 面的評価結果（表 1）

令和 6 年度の調査結果をもとに面的評価を行った結果、評価対象住居等 20,354 戸のうち、昼間（6 時～22 時）及び夜間（22 時～6 時）とも環境基準値以下であったのは 18,671 戸（91.7%）、昼間のみ基準値以下であったのは 489 戸（2.4%）、夜間のみ基準値以下であったのは 64 戸（0.3%）、昼夜間とも基準値を超過したのは 1,130 戸（5.6%）であった。

表 1 面的評価結果（令和 6 年度分）

| | 面的評価結果（全体） | | | | | 面的評価結果（近接空間） | | | | | 面的評価結果（非近接空間） | | | | |
|---|------------|--------|------|-------|-------|--------------|-------|------|-------|-----|---------------|--------|------|-------|-----|
| | 住居等戸数 | 基準値以下 | 昼夜とも | 基準値以下 | 昼のみ | 基準値以下 | 基準値以下 | 昼夜とも | 基準値以下 | 昼のみ | 基準値以下 | 基準値以下 | 昼夜とも | 基準値以下 | 昼のみ |
| 戸 | 20,354 | 18,671 | 489 | 64 | 1,130 | 7,846 | 7,232 | 204 | 3 | 407 | 12,508 | 11,439 | 285 | 61 | 723 |
| % | | 91.7 | 2.4 | 0.3 | 5.6 | | 92.2 | 2.6 | 0.0 | 5.2 | | 91.5 | 2.3 | 0.5 | 5.8 |

イ 面的評価結果（道路種別）（表 2）

道路種別では、昼夜間とも環境基準値以下であったのは、4 車線以上の市道に面する地域が 4,559 戸中 4,525 戸（99.3%）で割合が最も高く、次いで県道に面する地域が 2,253 戸中 2,100 戸（93.2%）、一般国道に面する地域が 13,542 戸中 12,046 戸（89.0%）であった。

表 2 道路種別の面的評価結果（令和 6 年度分）

| | | 面的評価結果（全体） | | | | | 面的評価結果（近接空間） | | | | | 面的評価結果（非近接空間） | | | | |
|----|---|------------|-----------|----------|----------|-----------|--------------|-----------|----------|----------|-----------|---------------|-----------|----------|----------|-----------|
| | | 住居等戸数 | 昼夜とも基準値以下 | 昼のみ基準値以下 | 夜のみ基準値以下 | 昼夜とも基準値超過 | 住居等戸数 | 昼夜とも基準値以下 | 昼のみ基準値以下 | 夜のみ基準値以下 | 昼夜とも基準値超過 | 住居等戸数 | 昼夜とも基準値以下 | 昼のみ基準値以下 | 夜のみ基準値以下 | 昼夜とも基準値超過 |
| イ | 戸 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | % | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| ロ | 戸 | 13,542 | 12,046 | 343 | 55 | 1,098 | 5,374 | 4,897 | 74 | 3 | 400 | 8,168 | 7,149 | 269 | 52 | 698 |
| | % | — | 89. 0 | 2. 5 | 0. 4 | 8. 1 | — | 91. 1 | 1. 4 | 0. 1 | 7. 4 | — | 87. 5 | 3. 3 | 0. 6 | 8. 5 |
| ハ | 戸 | 2,253 | 2,100 | 142 | 0 | 11 | 836 | 701 | 128 | 0 | 7 | 1,417 | 1,399 | 14 | 0 | 4 |
| | % | — | 93. 2 | 6. 3 | 0. 0 | 0. 5 | — | 83. 9 | 15. 3 | 0. 0 | 0. 8 | — | 98. 7 | 1. 0 | 0. 0 | 0. 3 |
| ニ | 戸 | 4,559 | 4,525 | 4 | 9 | 21 | 1,636 | 1,634 | 2 | 0 | 0 | 2,923 | 2,891 | 2 | 9 | 21 |
| | % | — | 99. 3 | 0. 1 | 0. 2 | 0. 5 | — | 99. 9 | 0. 1 | 0. 0 | 0. 0 | — | 98. 9 | 0. 1 | 0. 3 | 0. 7 |
| ホ | 戸 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | % | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 全体 | 戸 | 20,354 | 18,671 | 489 | 64 | 1,130 | 7,846 | 7,232 | 204 | 3 | 407 | 12,508 | 11,439 | 285 | 61 | 723 |
| | % | — | 91. 7 | 2. 4 | 0. 3 | 5. 6 | — | 92. 2 | 2. 6 | 0. 0 | 5. 2 | — | 91. 5 | 2. 3 | 0. 5 | 5. 8 |

＜道路種別＞ イ：高速自動車国道 ロ：一般国道 ハ：県道 ニ：4 車線以上の市道 ホ：その他の道路

※全体の面的評価結果と道路種別の面的評価結果とで評価戸数の合計戸数が異なるのは、道路種別の評価において複数の道路から評価を受ける交差点部等の住居を重複集計しているためである。

※幹線交通を担う道路での環境基準値は、近接空間と近接空間以外とで異なる（参考資料参照）。

(2) 5か年度分（令和2年度～令和6年度）の調査による市全域の面的評価結果（表3）

令和2年度から令和6年度までの5か年度分の調査結果をもとに市全域の面的評価を行った結果、評価対象住居等61,751戸のうち、昼夜間とも環境基準値以下であったのは57,952戸（93.8%）、昼間のみ基準値以下であったのは1,231戸（2.0%）、夜間のみ基準値以下であったのは485戸（0.8%）、昼夜間とも基準値を超過したのは2,083戸（3.4%）であった。

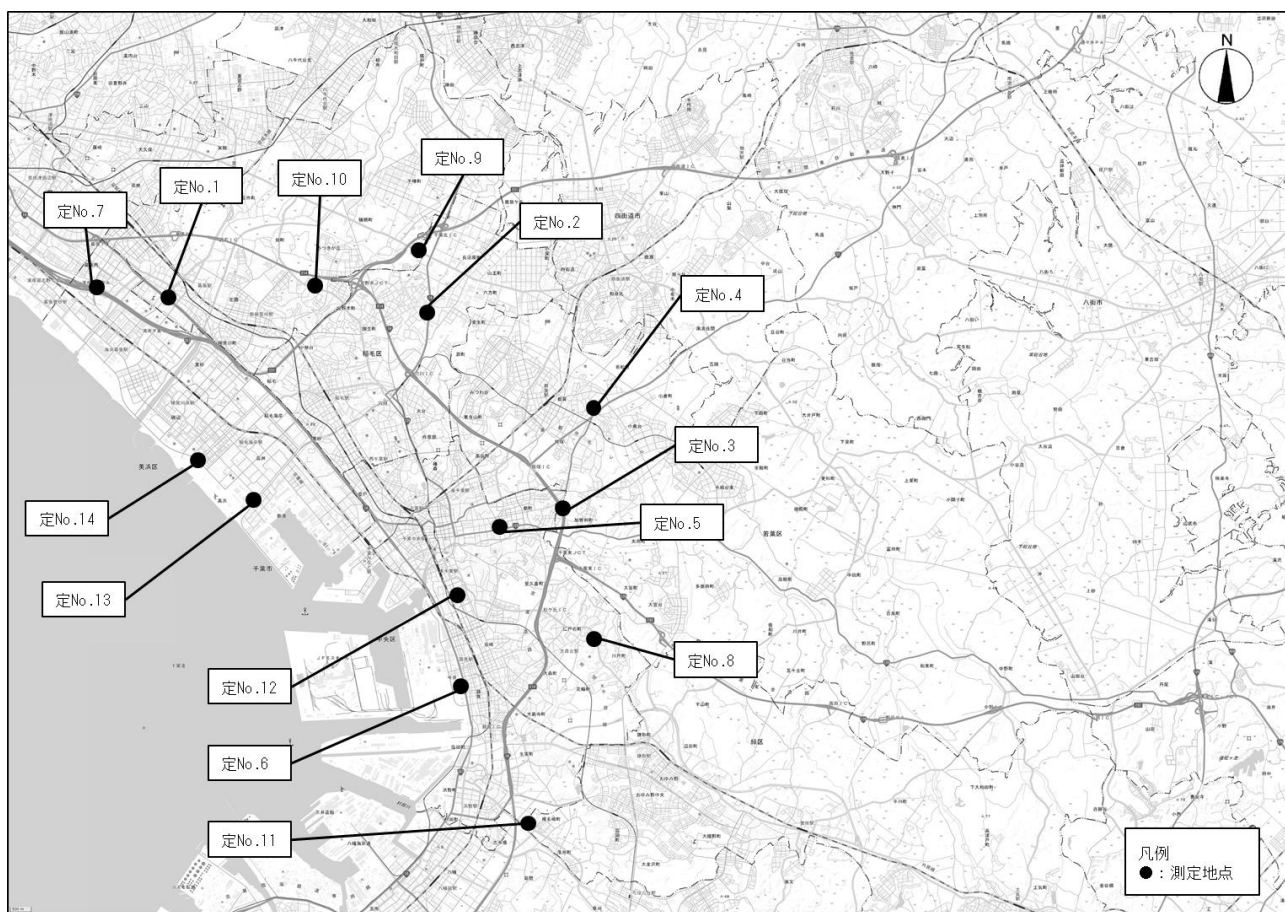
また、過去3年の5か年度分的評価結果（全体）の達成率はわずかに上昇している。

表3 市全域の面的評価結果（5か年度分）

| | | 面的評価結果（全体） | | | | | 面的評価結果（近接空間） | | | | | 面的評価結果（非近接空間） | | | | |
|----------------|---|------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|
| | | 住居等戸数 | 基準値以下 昼夜とも | 基準値以下 昼のみ | 基準値以下 夜のみ | 基準値超過 昼夜とも | 住居等戸数 | 基準値以下 昼夜とも | 基準値以下 昼のみ | 基準値以下 夜のみ | 基準値超過 昼夜とも | 住居等戸数 | 基準値以下 昼夜とも | 基準値以下 昼のみ | 基準値以下 夜のみ | 基準値超過 昼夜とも |
| R2 ～ R6 | 戸 | 61,751 | 57,952 | 1,231 | 485 | 2,083 | 23,190 | 21,962 | 454 | 149 | 625 | 38,561 | 35,990 | 777 | 336 | 1,458 |
| | % | | 93. 8 | 2. 0 | 0. 8 | 3. 4 | | 94. 7 | 2. 0 | 0. 6 | 2. 7 | | 93. 3 | 2. 0 | 0. 9 | 3. 8 |
| R1 ～ R5 | 戸 | 61,308 | 57,031 | 1,514 | 544 | 2,219 | 22,463 | 20,731 | 829 | 107 | 796 | 38,845 | 36,300 | 685 | 437 | 1,423 |
| | % | | 93. 0 | 2. 5 | 0. 9 | 3. 6 | | 92. 3 | 3. 7 | 0. 5 | 3. 5 | | 93. 4 | 1. 8 | 1. 1 | 3. 7 |
| H30 ～ R4 | 戸 | 60,216 | 55,758 | 1,562 | 567 | 2,329 | 21,984 | 20,133 | 913 | 109 | 829 | 38,232 | 35,625 | 649 | 458 | 1,500 |
| | % | | 92. 6 | 2. 6 | 0. 9 | 3. 9 | | 91. 6 | 4. 2 | 0. 5 | 3. 8 | | 93. 2 | 1. 7 | 1. 2 | 3. 9 |

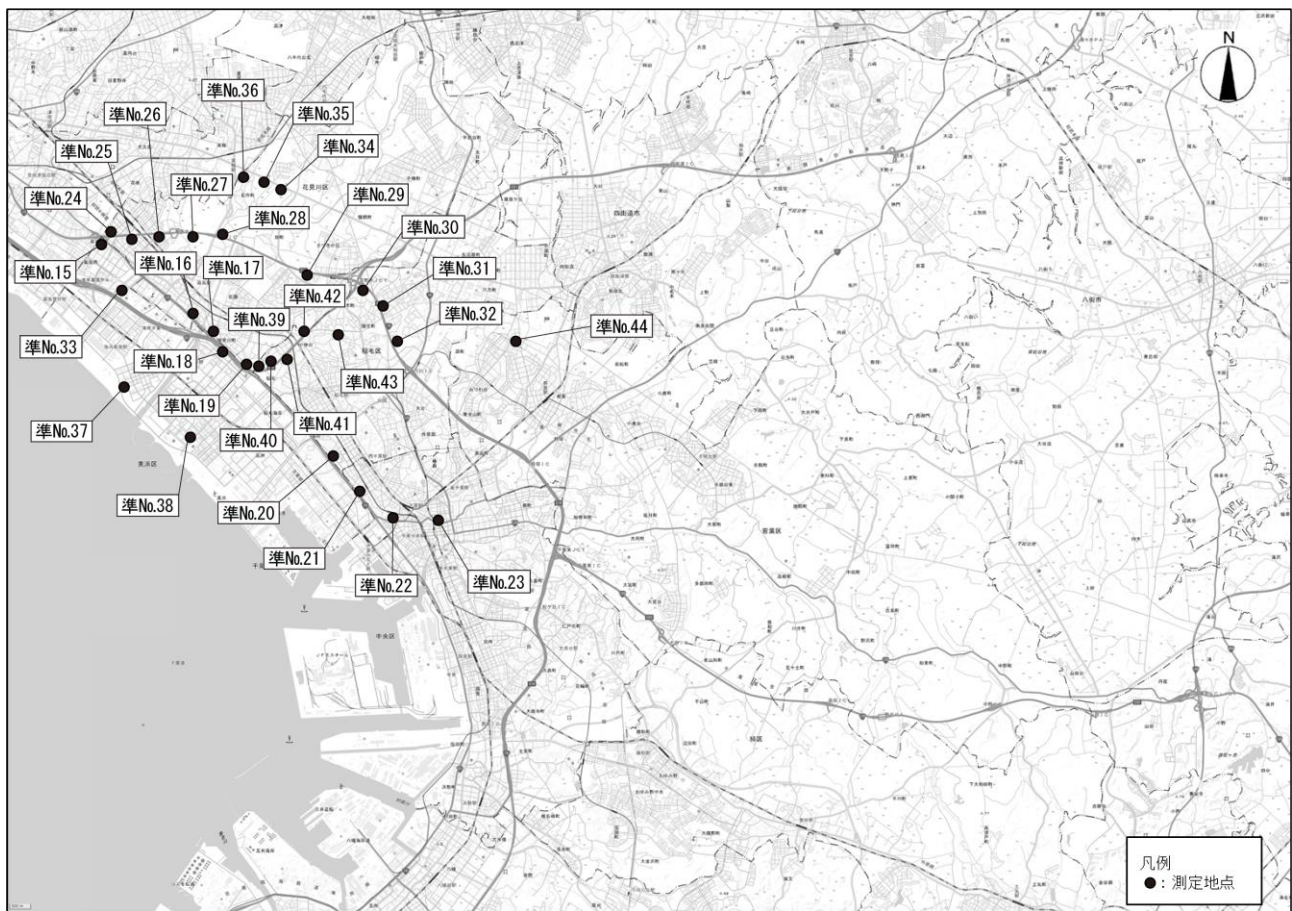
参考資料

- 1 騒音に係る環境基準
- 2 常時監視結果の評価方法等



(国土地理院タイルに測定位置等を追記して掲載)

図1 自動車騒音常時監視 定点調査地点（令和6年度）



(国土地理院タイルに測定位置等を追記して掲載)

図2 自動車騒音常時監視 準定点調査地点（令和6年度）

(参考資料)

1 騒音に係る環境基準（平成 10 年環境庁告示第 64 号）

（最終改正：平成 24 年環境省告示第 54 号）

(1) 環境基準

○道路に面する地域

| 地域の区分 | 基準値 | |
|---|-----------|-----------|
| | 昼間 | 夜間 |
| A 地域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する地域 | 60 デシベル以下 | 55 デシベル以下 |
| B 地域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する地域及び C 地域のうち車線を有する道路に面する地域 | 65 デシベル以下 | 60 デシベル以下 |

備考

1. 時間の区分は、昼間を午前 6 時から午後 10 時までの間とし、夜間を午後 10 時から翌日の午前 6 時までの間とする。
2. A を当てはめる地域は、専ら住居の用に供される地域とする。
3. B を当てはめる地域は、主として住居の用に供される地域とする。
4. C を当てはめる地域は、相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域とする。
5. 車線とは、1 縦列の自動車及安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車道部分をいう。

○幹線交通を担う道路に近接する空間

| 基準値 | |
|---|-----------|
| 昼間 | 夜間 |
| 70 デシベル以下 | 65 デシベル以下 |
| 備考：個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準（昼間にあっては 45 デシベル以下、夜間にあっては 40 デシベル以下）によることができる。 | |

(2) 基準値の評価手法

騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

(3) 環境基準の達成状況の地域としての評価方法

道路に面する地域については、原則として一定の地域ごとに当該地域内の全ての住居等のうち環境基準の基準値を超過する戸数及び超過する割合を把握することにより評価するものとする。

2 常時監視結果の評価方法等

（環境省通知「騒音規制法第 18 条の規定に基づく自動車騒音の常時監視に係る事務の処理基準について」：平成 23 年 9 月 14 日改正）

(1) 定義等

○面的評価

「騒音に係る環境基準（平成 10 年環境庁告示第 64 号）に示される、環境基準の達成状況の道路に面する地域としての評価をいう。

○幹線交通を担う道路

高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び市町村道（市町村道にあっては 4 車線以上の車線を有する区間に限る。）、自動車専用道路

○幹線交通を担う道路に近接する空間（近接空間）

- ・ 2 車線以下の車線を有する道路：道路端から 15 メートルまでの範囲
- ・ 2 車線を超える車線を有する道路：道路端から 20 メートルまでの範囲

※50 メートルの評価範囲のうち近接空間以外の場所は非近接空間となる。

(2) 監視

○自動車騒音の状況の把握は、面的評価の方法によるものとする。

○面的評価は、道路端から 50 メートルにある全ての範囲を対象とする。

○面的評価は、監視の対象となる道路について、評価区間に分割し、評価区間ごとに行うものとする。

令和 6 年度一般環境中（大気）のダイオキシン類調査結果

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条第 1 項の規定により、令和 6 年度に市内 3 地点で調査した結果は以下のとおりである。

- 1 調査期間
夏季：令和 6 年 9 月 18 日～9 月 25 日
冬季：令和 7 年 1 月 8 日～1 月 15 日
- 2 調査地点 3 地点
- 3 調査結果
すべての調査地点で環境基準を達成した。

1 調査方法及び調査地点

(1) 調査方法

臨海工業地域周辺地区、隣接工業地域周辺地区、郊外地区等の地域特性を考慮するとともに、各区内に少なくとも 1 地点が含まれるよう選定した市内 6 地点のうち、令和 3 年度からは 2 年で一巡するよう調査を行っている。

令和 6 年度は、3 地点の夏季及び冬季において、「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」（平成 20 年 3 月環境省）に基づき調査を実施した。

(2) 調査地点

図 1 に示す市内 3 地点において調査を実施した。



図 1 一般環境中（大気）のダイオキシン類調査地点

2 調査結果

表 1 令和 6 年度一般環境中（大気）のダイオキシン類調査結果

単位:pg-TEQ/m³

| 調査時期 調査地点 | 夏季 令和 6 年 9 月 18 日 ～9 月 25 日 | 冬季 令和 7 年 1 月 8 日 ～1 月 15 日 | 年平均值 | 環境基準 |
|--------------|------------------------------------|-----------------------------------|-------|------|
| 花見川小学校 | 0.0083 | 0.045 | 0.027 | 0.6 |
| 千城台わかば小学校 | 0.034 | 0.089 | 0.062 | |
| 真砂公園 | 0.012 | 0.029 | 0.021 | |
| 全地点平均値 | | | 0.036 | |

令和 6 年度一般環境中（公共用水域水質及び底質、地下水、土壌）のダイオキシン類調査結果

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条第 1 項の規定により、本市の区域におけるダイオキシン類による水質、土壌等の調査を実施し、汚染状況を確認した結果は以下のとおりである。

1 調査件数

公共用水域（水質及び底質） 5 地点（河川 3 地点、海域 2 地点）
 地下水 2 地点
 土壌 2 地点

2 調査結果

すべての地点で環境基準を達成した。

1 調査方法

河川の水質及び底質については本市域を流れる主要 3 河川の下流 3 地点を対象に、海域の水質及び底質については水質に係る常時監視地点である 2 地点を対象に、それぞれ調査を実施した。また、地下水及び土壌については、市内各 2 地点において調査を実施した。

公共用水域水質及び地下水については日本産業規格 K0312、公共用水域底質については「ダイオキシン類に係る底質調査マニュアル」（平成 20 年 3 月環境省）、土壌については「ダイオキシン類に係る土壌調査マニュアル」（平成 20 年 1 月環境省）に基づきそれぞれ調査を実施した。

2 調査結果

（1）公共用水域水質及び底質（河川）

| 水域名 | 調査地点 | 調査結果 | | 調査日 |
|-----|-------|----------------------|----------------|-----------------|
| | | 水質（年間平均） pg-TEQ/L | 底質 pg-TEQ/g | |
| 花見川 | 新花見川橋 | 0.11 | 4.6 | 令和 7 年 1 月 17 日 |
| 都 川 | 都 橋 | 0.070 | 0.69 | |
| 葎 川 | 日 本 橋 | 0.068 | 2.1 | |

（2）公共用水域水質及び底質（海域）

| 水域名 | 調査地点 | 調査結果 | | 調査日 |
|-----|------|----------------------|----------------|-----------------|
| | | 水質（年間平均） pg-TEQ/L | 底質 pg-TEQ/g | |
| 東京湾 | NO.1 | 0.080 | 22 | 令和 7 年 1 月 22 日 |
| | NO.3 | 0.077 | 11 | |

(3) 地下水調査結果

| 区 名 | 調査地点 | | 測定値 pg-TEQ/L | 調査日 |
|-------|---------|----|-----------------|-----------|
| 若 葉 区 | 千城台北1丁目 | A1 | 0.062 | 令和7年1月29日 |
| 緑 区 | 誉田町1丁目 | A2 | 0.062 | |

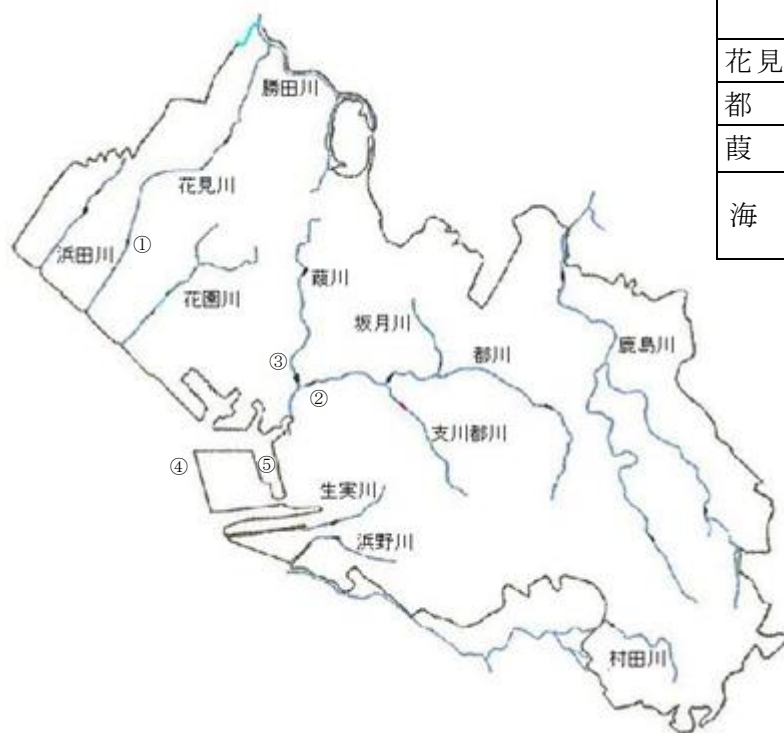
(4) 土壌調査結果

| 区 名 | 調査地点 | | 測定値 pg-TEQ/g | 調査日 |
|-------|---------|----|-----------------|-----------|
| 若 葉 区 | 千城台北1丁目 | A1 | 0.14 | 令和7年1月29日 |
| 緑 区 | 誉田町1丁目 | A2 | 0.13 | |

3 調査結果の評価

- (1) 公共用水域の水質（河川及び海域）については、0.068～0.11pg-TEQ/Lであり、すべての地点で水質の汚濁に係る環境基準（1.0 pg-TEQ/L）を達成していた。
- (2) 公共用水域の底質（河川及び海域）については、0.69～22 pg-TEQ/gであり、すべての地点で水底の底質の汚染に係る環境基準（150 pg-TEQ/g）を達成していた。
- (3) 地下水調査結果については、0.062 pg-TEQ/Lであり、すべての地点で水質の汚濁に係る環境基準（1.0 pg-TEQ/L）を達成していた。
- (4) 土壌調査結果については、0.13～0.14 pg-TEQ/gであり、すべての地点で土壌の汚染に係る環境基準（1,000 pg-TEQ/g）を達成していた。

河川・海域・底質



| | N o | 調査地点 |
|-----|-----|-----------|
| 花見川 | ① | 新花見川橋 |
| 都 川 | ② | 都橋 |
| 葎 川 | ③ | 日本橋 |
| 海 域 | ④ | 東京湾N o. 1 |
| | ⑤ | 東京湾N o. 3 |

| | | |
|-------|-----|-----------|
| | N o | 調査地点 |
| 若 葉 区 | A 1 | 千城北台 1 丁目 |
| 緑 区 | A 2 | 菅田町 1 丁目 |

令和 6 年度廃棄物焼却炉等排出ガス中のダイオキシン類立入検査結果

ダイオキシン類対策特別措置法第 34 条第 1 項の規定により、立入検査を実施し、廃棄物焼却炉等に係るダイオキシン類の排出基準の遵守状況を確認した結果は以下のとおりである。

1 立入検査件数 2 件

2 検査結果
すべての事業場で大気排出基準を達成した。

1 調査方法

ダイオキシン類対策特別措置法の規定に基づき、日本産業規格 K0311 により実施した。

2 調査結果

単位：ng-TEQ/m³N

| 工場・事業場名 | 検査日 | 施設名 | 測定値 | 基準値 |
|------------------------|------------------|---------|----------|-----|
| JFE スチール株式会社 東日本製鉄所 | 令和 6 年 11 月 22 日 | 第 4 焼結炉 | 0.055 | 1 |
| 千葉市新港清掃工場 | 令和 6 年 12 月 4 日 | 廃棄物焼却炉 | 0.000035 | 0.1 |

令和6年度特定事業場排水のダイオキシン類立入検査結果

ダイオキシン類対策特別措置法第34条第1項の規定により、立入検査を実施し、水質基準適用事業場のダイオキシン類に係る排出基準の遵守状況を確認した結果は以下のとおりである。

1 立入検査件数 2件

2 検査結果

すべての事業場で水質排出基準を達成した。

1 調査方法

ダイオキシン類対策特別措置法の規定に基づき、日本産業規格 K 0312 により実施した。

2 調査結果

単位：pg-TEQ/L

| 事業場名 | 施設名 | 調査結果 | 基準値 | 検査日 |
|-----------------------------|---------------|----------|-----|-----------|
| J F E スチール(株) 東日本製鉄所千葉地区 | 排水処理施設 | 0.017 | 10 | 令和7年1月20日 |
| 千葉市南部浄化センター | 下水道終末処理 施設 | 0.000084 | 10 | 令和7年1月20日 |

令和6年度ダイオキシン類対策特別措置法第28条による自主測定結果

ダイオキシン類対策特別措置法第28条の規定により、設置者によるダイオキシン類の測定結果を公表する。

1 対象事業者

- ・水質基準対象施設：5事業場
- ・大気基準適用施設：21事業場

2 測定結果

排出水、排出ガスについて、排出基準を超える事業場はなかった。また、ばいじん等は、処理基準を超える事業場はなかった。

ダイオキシン類対策特別措置法第28条による自主測定結果（水質基準対象施設）

（事業場名称五十音順）

| No | 事業場名称 | 所在地 (区) | 所在地 | 対象施設名 | 測定結果 | | 試料 採取日 | 報告日 |
|----|-------------|------------|----------|-----------------------|---------------|------|-----------|----------|
| | | | | | pg-TEQ/L | 排出基準 | | |
| 1 | JFEスチール(株) | 中央区 | 川崎町1 | 排水処理施設 | 0.031 | 10 | R7.1.20 | R7.3.12 |
| 2 | 千葉県花見川終末処理場 | 美浜区 | 磯辺8-24-1 | 廃ガス洗浄施設 第一下水道終末処理場 | 0.00052 | 10 | R6.5.23 | R6.12.24 |
| | | 美浜区 | 豊砂7 | 廃ガス洗浄施設 第二下水道終末処理場 | 0.0095 | | R6.5.21 | |
| 3 | 千葉市北清掃工場 | 花見川区 | 三角町727-1 | 灰貯留施設 | 0.00005 | 10 | R6.5.14 | R7.3.28 |
| | | | | | 0.000012 | | R7.2.12 | |
| 4 | 千葉市中央浄化センター | 美浜区 | 新港69 | 下水道終末処理場 | 0.00040 | 10 | R6.11.6 | R6.12.20 |
| 5 | 千葉市南部浄化センター | 中央区 | 村田町893 | 廃ガス洗浄施設 | 0.00076 (A系) | 10 | R6.6.19 | R7.3.21 |
| | | | | | 0.0026 (B・C系) | | R6.6.19 | |

ダイオキシン類対策特別措置法第28条による自主測定結果（大気基準適用施設）

（事業場名称五十音順）

| No | 事業場名称 | 所在地 (区) | 所在地 | 設置 年月 | 施設名称 | 焼却能力 | 火床面積 | 排出ガス | | 焼却灰 | ばいじん | 試料 採取日 | 報告日 |
|----|---------------------|------------|-------------|----------|-------------|-------------------|--------|-----------|------------|------------------|-------------|-----------------------------------|------------|
| | | | | | | kg/h | ㎡ | ng-TEQ/㎡N | 大気排出 基準 | ng-TEQ/g | ng-TEQ/g | | |
| 1 | ㈱アイキョーホーム | 若葉区 | 若松町2217-8 | H23. 6 | 廃棄物焼却炉 | 61 | 2. 91 | 休止中 | | | | | |
| 2 | ㈱井澤興業 | 緑区 | 大木戸町1171-18 | H14. 2 | 廃棄物焼却炉 | 160 | 3. 8 | 休止中 | | | | | |
| 3 | J&T環境㈱ | 中央区 | 川崎町10-3 | H10. 6 | 廃棄物焼却炉 | 6250 | | 休止中 | | | | | |
| 4 | JFEスチール㈱ | 中央区 | 川崎町1 | S48. 9 | 焼結炉(第4焼結) | 551t/h(処理能力) | | 0. 090 | 1 | | | R7. 1. 30 | R7. 3. 12 |
| 5 | JFEスチール㈱ スチール研究所 | 中央区 | 川崎町1 | H15. 10 | 焼結炉(HI-QIP) | 1. 5t/h(処理能力) | | 休止中 | | | | | |
| | | | | R5. 7 | 電気炉 | 7000kVA(変圧器の定格容量) | | 建設中 | | | | | |
| 6 | 杉山重機土木㈱若葉事業場 | 若葉区 | 中田町978-3 | H17. 6 | 廃棄物焼却炉 | 189. 3 | 1. 47 | 休止中 | | | | | |
| 7 | 千葉印刷団地協同組合 | 緑区 | 古市場町474-251 | H14. 8 | 廃棄物焼却炉 | 40. 8 | 1. 813 | 2. 1 | 5 | 0. 00019 | － | R7. 2. 28 | R7. 3. 24 |
| 8 | 千葉県中央家畜保健衛生所 | 花見川区 | 三角町656 | S56. 10 | 廃棄物焼却炉 | 63 | 1. 5 | 0. 12 | 10 | 0 | － | 排出ガス：R6. 10. 10 焼却灰：R6. 10. 11 | R7. 2. 26 |
| 9 | 千葉県花見川終末処理場 | 美浜区 | 磯辺8-24-1 | S53. 2 | 廃棄物焼却炉(1号) | 1563 | 5. 1 | 休止中 | | | | | |
| | | | | S55. 11 | 廃棄物焼却炉(2号) | 1563 | 4. 7 | 休止中 | | | | | |
| | | | | S62. 8 | 廃棄物焼却炉(3号) | 3333 | 14. 3 | 0. 0043 | 5 | 0. 0082 | 0. 000012 | R6. 9. 5 | R6. 12. 24 |
| | | | | H1. 4 | 廃棄物焼却炉(4号) | 5000 | 20. 4 | 0. 0011 | 1 | 0. 00000030 | 0. 00000029 | R6. 7. 11 | |
| | | | | H1. 4 | 廃棄物焼却炉(5号) | 5000 | 20. 4 | 0. 00064 | 1 | 0. 0000079 | 0. 0000071 | R6. 5. 23 | |
| 10 | 千葉市北清掃工場 | 花見川区 | 三角町727-1 | H1. 1 | 廃棄物焼却炉(1号) | 7917 | 34. 82 | 0. 000061 | 1 | 0. 023 | 0. 32 | R6. 5. 14 | R7. 3. 28 |
| | | | | | | | | 0. 00023 | 1 | | | R6. 9. 10 | |
| | | | | H1. 1 | 廃棄物焼却炉(2号) | 7917 | 34. 82 | 0. 000026 | 1 | 0. 0075 | 0. 54 | R6. 5. 14 | |
| | | | | | | | | 0. 00034 | 1 | | | R6. 11. 12 | |
| | | | | H1. 1 | 廃棄物焼却炉(3号) | 7917 | 34. 82 | 0. 032 | 1 | 0. 027 | 1. 5 | R6. 7. 9 | |
| | | | | | | | | 0. 000073 | 1 | | | R6. 9. 10 | |
| | | | | | | | | | | 0. 52 (飛灰固化物) | R6. 5. 13 | | |
| | | | | | | | | | | 0. 77 (飛灰固化物) | R6. 9. 9 | | |
| | | | | | | | | | | 0. 021 (混合灰) | | R6. 5. 14 | |
| | | | | | | | | | | 0. 073 (混合灰) | | R6. 9. 10 | |
| 11 | 千葉市新清掃工場(仮称) | 若葉区 | 北谷津町347 | R4. 11 | 廃棄物焼却炉(1号) | 8125 | | 建設中 | | | | | |
| | | | | R4. 11 | 廃棄物焼却炉(2号) | 8125 | | 建設中 | | | | | |
| | | | | R4. 11 | 廃棄物焼却炉(3号) | 8125 | | 建設中 | | | | | |

ダイオキシン類対策特別措置法第28条による自主測定結果（大気基準適用施設）

（事業場名称五十音順）

| No | 事業場名称 | 所在地 (区) | 所在地 | 設置 年月 | 施設名称 | 焼却能力 | 火床面積 | 排出ガス | | 焼却灰 | ばいじん | 試料 採取日 | 報告日 |
|----|------------------|------------|-----------|----------|------------------|------|----------------|--------------------------|------------|--|---|-----------------------------------|------------------------|
| | | | | | | kg/h | m ² | ng-TEQ/m ³ N | 大気排出 基準 | ng-TEQ/g | ng-TEQ/g | | |
| 12 | 千葉市新港清掃工場 | 美浜区 | 新港226-1 | H14. 12 | 廃棄物焼却炉(1号) | 6042 | 27. 23 | 0. 00060 | 0. 1 | 0. 0056 0. 012 (採取日： R6. 8. 5 R6. 12. 2) | 0. 27 0. 27 (採取日： R6. 8. 5 R6. 12. 2) | R6. 8. 5 | R6. 10. 3 R7. 3. 28 |
| | | | | | | | | 0. 00000051 | 0. 1 | | | R6. 12. 3 | |
| | | | | H14. 12 | 廃棄物焼却炉(2号) | 6042 | 27. 23 | 0. 0000010 | 0. 1 | | | R6. 8. 7 | |
| | | | | | | | | 0. 00000018 | 0. 1 | | | R6. 12. 10 | |
| | | | | H14. 12 | 廃棄物焼却炉(3号) | 6042 | 27. 23 | 0. 00000085 | 0. 1 | | | R6. 8. 5 | |
| | | | | | | | | 0. 0000029 | 0. 1 | | | R6. 12. 2 | |
| | | | | H30. 6 | 廃棄物焼却炉 (溶融炉1) | 1667 | | 0. 000025 (2号焼却炉合流) | 5 | | | R6. 8. 6 | |
| | | | | | | | | 0. 00000012 (2号焼却炉合流) | 5 | | | R6. 12. 23 | |
| | | | | | | | | | | 0. 000065 (磨砕スラグ) | | R6. 8. 5 | |
| | | | | | | | | | | 0. 00000016 (磨砕スラグ) | | R6. 12. 2 | |
| | | | | | | | | | | 0. 025 (セメント固化物) | | R6. 8. 5 | |
| | | | | | | | | | | 0. 037 (セメント固化物) | | R6. 12. 2 | |
| | | | | R1. 4 | 廃棄物焼却炉 (溶融炉2) | 1667 | | 0. 00018 (1号焼却炉合流) | 5 | | | R6. 4. 5 | |
| | | | | | | | | 0. 00040 (1号焼却炉合流) | 5 | | | R6. 10. 23 | |
| 13 | 千葉市南部浄化センター | 中央区 | 村田町893 | H6. 4 | 廃棄物焼却炉(1号) | 2396 | 9. 03 | 休止中 | | | | | |
| | | | | H8. 4 | 廃棄物焼却炉(2号) | 2396 | 9. 03 | 0. 0019 | 5 | — | 0. 00000030 | R6. 6. 25 | R7. 3. 18 |
| | | | | H17. 4 | 廃棄物焼却炉(3号) | 4375 | 19. 6 | 0. 027 | 0. 1 | — | 0. 0025 | R6. 7. 27 | |
| | | | | H28. 6 | 廃棄物焼却炉(4号) | 2917 | 4. 2 | 0. 0063 | 1 | — | 0. 00050 | R6. 5. 29 | |
| | | | | R6. 3 | 廃棄物焼却炉(5号) | 2500 | | 休止中 | | | | | |
| 14 | 日本サイロ(株)千葉事業所 | 美浜区 | 新港3-2 | H5. 8 | 廃棄物焼却炉 | 98 | 1. 8 | 1. 3 | 10 | 0. 00022 | — | 排出ガス：R6. 10. 17 焼却灰：R6. 10. 18 | R7. 1. 14 |
| 15 | 日本特殊炉材(株)千葉工場 | 稲毛区 | 六方町219 | H4. 12 | 廃棄物焼却炉 | 100 | 1. 98 | 1. 2 | 10 | 0. 0000027 | — | R7. 2. 18 | R7. 3. 19 |
| 16 | (株)平川カントリークラブ | 緑区 | 平川町405 | H1. 1 | 廃棄物焼却炉 | 190 | 1. 9 | 休止中 | | | | | |
| 17 | (有)プロダイヤエンタープライズ | 若葉区 | 中野町1574-2 | H18. 11 | 廃棄物焼却炉 | 162 | 1. 8 | 休止中 | | | | | |
| 18 | (株)マックスコーポレーション | 若葉区 | 御殿町2496-1 | H19. 5 | 廃棄物焼却炉 | 186 | 1. 8 | 休止中 | | | | | |
| 19 | (株)源企画 | 若葉区 | 中野町561-3 | H10. 8 | 廃棄物焼却炉 | 190 | 5. 7 | 休止中 | | | | | |

ダイオキシン類対策特別措置法第28条による自主測定結果（大気基準適用施設）

（事業場名称五十音順）

| No | 事業場名称 | 所在地 (区) | 所在地 | 設置 年月 | 施設名称 | 焼却能力 kg/h | 火床面積 m ² | 排出ガス | | 焼却灰 ng-TEQ/g | ばいじん ng-TEQ/g | 試料 採取日 | 報告日 |
|----|---------|------------|----------|----------|--------|--------------|------------------------|-------------------------|------------|-----------------|------------------|-----------|-----|
| | | | | | | | | ng-TEQ/m ³ N | 大気排出 基準 | | | | |
| 20 | (株)吉田商店 | 緑区 | 高田町186-3 | H12.1 | 廃棄物焼却炉 | 176 | 1.65 | 休止中 | | | | | |
| 21 | (有)蘭企画 | 緑区 | 高田町155-1 | H18.5 | 廃棄物焼却炉 | 162 | 1.8 | 休止中 | | | | | |

※ばいじん・焼却灰の処理基準：3 ng-TEQ/g